

# 第3次清川村総合計画

後期基本計画・実施計画・実績評価

【計画期間：令和4年度～令和5年度】

～水と緑の心の源流郷～ きよかわ

輝き・愛着・誇りを育む村づくり



神奈川県 清川村

令和5年12月



## 目 次

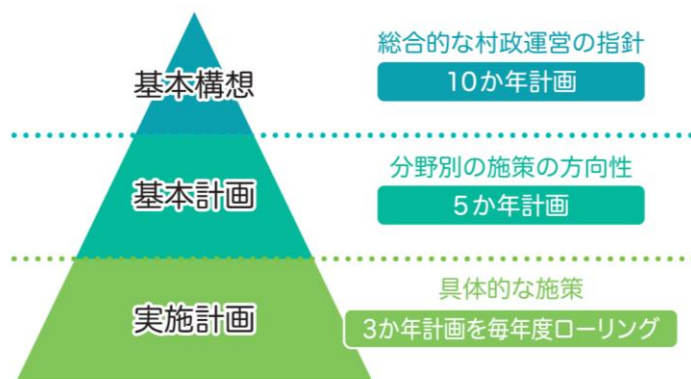
I	第3次清川村総合計画後期基本計画・実施計画について・・・	p 1
II	実施計画体系図・・・・・・・・・・・・・・・・	p 4
III	実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・	p 9
	重点 1：村の魅力活用プロジェクト・・・・・・・・	p 9
	重点 2：交流人口拡大プロジェクト・・・・・・・・	p 43
	重点 3：居住環境整備プロジェクト・・・・・・・・	p 61
	重点 4：清川っ子を育むプロジェクト・・・・・・・・	p 105
	重点 5：高齢者の活力創出プロジェクト・・・・・・・・	p 157

## I 第3次清川村総合計画後期基本計画・実施計画について

### 1 実施計画の位置づけ

#### (1) 基本構想

村が目指す将来像を実現するため、村民や地域に関与する個人や団体などと行政がお互いの特長を活かし協力し合う「協働」を進めることにより、村における生活の利便性の向上や村の資源の活用した産業振興などを実現するなど、村政の公共領域を再構築することを目指し、5つの「施策の大綱」を推進します。



- ① 自然と調和した住みよい村づくりの推進
- ② 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進
- ③ 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進
- ④ 誇りを持って村を支える人づくりの推進
- ⑤ 村民と行政が築く村政の推進

#### (2) 後期基本計画

基本構想に掲げる「施策の大綱」に基づき、前期基本計画の成果を検証し、社会経済情勢や地域社会を取り巻く状況の変化などを踏まえ、後期基本計画では、村の将来像を実現するため、今後、5年間で村が重点的に取り組むことについて、「重点プロジェクト」を定めています。

- ① 村の魅力活用プロジェクト
- ② 交流人口拡大プロジェクト
- ③ 居住環境整備プロジェクト
- ④ 清川っ子を育むプロジェクト
- ⑤ 高齢者の活力創出プロジェクト

#### (3) 実施計画

実施計画は、計画的に実施すべき施策・事業を現状の行財政の中で、どのように具現化していくかを定めるものであり、後期基本計画で定めた施策を補足するとともに、毎年度の予算編成にあたっての先導的な役割を果たし、財政的な裏付け等を盛り込んだ年度別計画としています。

また、施策・事業による目標の達成に向け、効率的で効果的な行政運営を推進するため、予算査定時や各種広聴事業を通じて、その進捗度や費用対効果を精査し、時代の潮流に応じて施策の方向性等をその都度検討するものとします。

## 2 実施計画の期間

実施計画の計画期間は、令和4年度を起点とした2年間とし、次年度以降もローリング方式で更新します。

## 3 実施計画の事業単位

実施計画の対象事業の単位は、原則として予算上の事業単位とします。ただし、事業がその対象者や目的などと異なる複数の事業から構成されている場合は、それぞれの事業を細分化した実施計画事業とします。

今後、新年度予算編成時において、必要に応じ、事業を分離・集約等を検討します。

## 4 実施計画の対象事業

実施計画の対象事業は、原則として次に該当するものとします。

- (1) 第3次総合計画後期基本計画において、重点プロジェクトとして位置づけられている施策・事業のうち、単年度の予算額が1件概ね100万円以上の事業
- (2) 当初予算の記者発表資料等に掲載された新規・拡充及び主要事業等

## 5 実施計画調書作成に係る留意事項及び記載要領

### (1) 重点プロジェクト

後期基本計画における5つの重点プロジェクトのうち、該当するプロジェクト名を記載しています。

### (2) 目標指標

後期基本計画における重点プロジェクト毎に定める「令和5年度(2023年)までの重要業績評価指標(KPI)」を記載し、これを「目標指標」として定めています。

### (3) 位置付け

第3次清川村総合計画における「施策の大綱」、後期基本計画における「基本目標」、「基本施策」を記載しています。

### (4) 計画事業(予算事業)

「予算事業名」を記載しています。予算事業の一部の事業の場合は、主管課等で作成した事業名を記載し、「予算事業名」の頭には、「事業整理No.」として重点プロジェクト毎に番号を付しています。

### (5) 区分

令和4年度で新たに着手・実施する事業の場合は「新規」、事業規模等を拡大する場合は「拡大」、現状のまま継続する事業の場合は「継続」と記載しています。

### (6) 事業概要、事業費

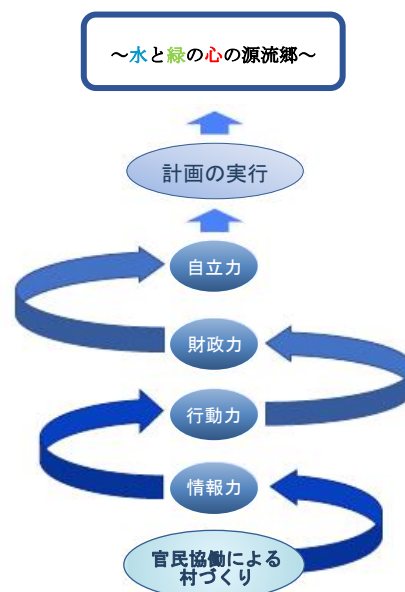
実施計画に掲げた事業の概要、2か年の施策・事業の方向性及び1か年毎の事業費を記載しています。

## 6 実現化方策

本計画の実現に向けて、重点プロジェクトや基本施策を着実に進めていくためには、実行性を確保し、より実効性を高める必要があるため、重点プロジェクトや基本施策の実施に当たり、情報力・行動力・財政力・自立力の4つを推進力として位置付け、円滑かつ着実に進めていくことで、より実効性の高い取り組みとします。

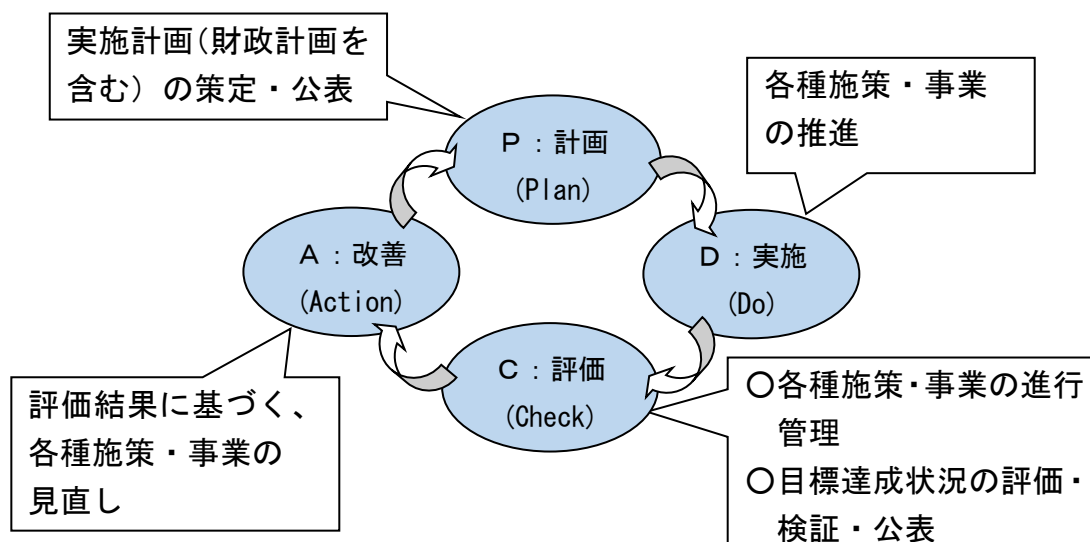
- 情報力
- 行動力
- 財政力
- 自立力

以上の4つの推進力を念頭に置き、重点プロジェクトの成果を評価・検証するため、5年後の重要業績評価指標（KPI）を定めて、計画の進行管理を行いながら、実現を図ることとしています。



## 7 実施計画の進行管理

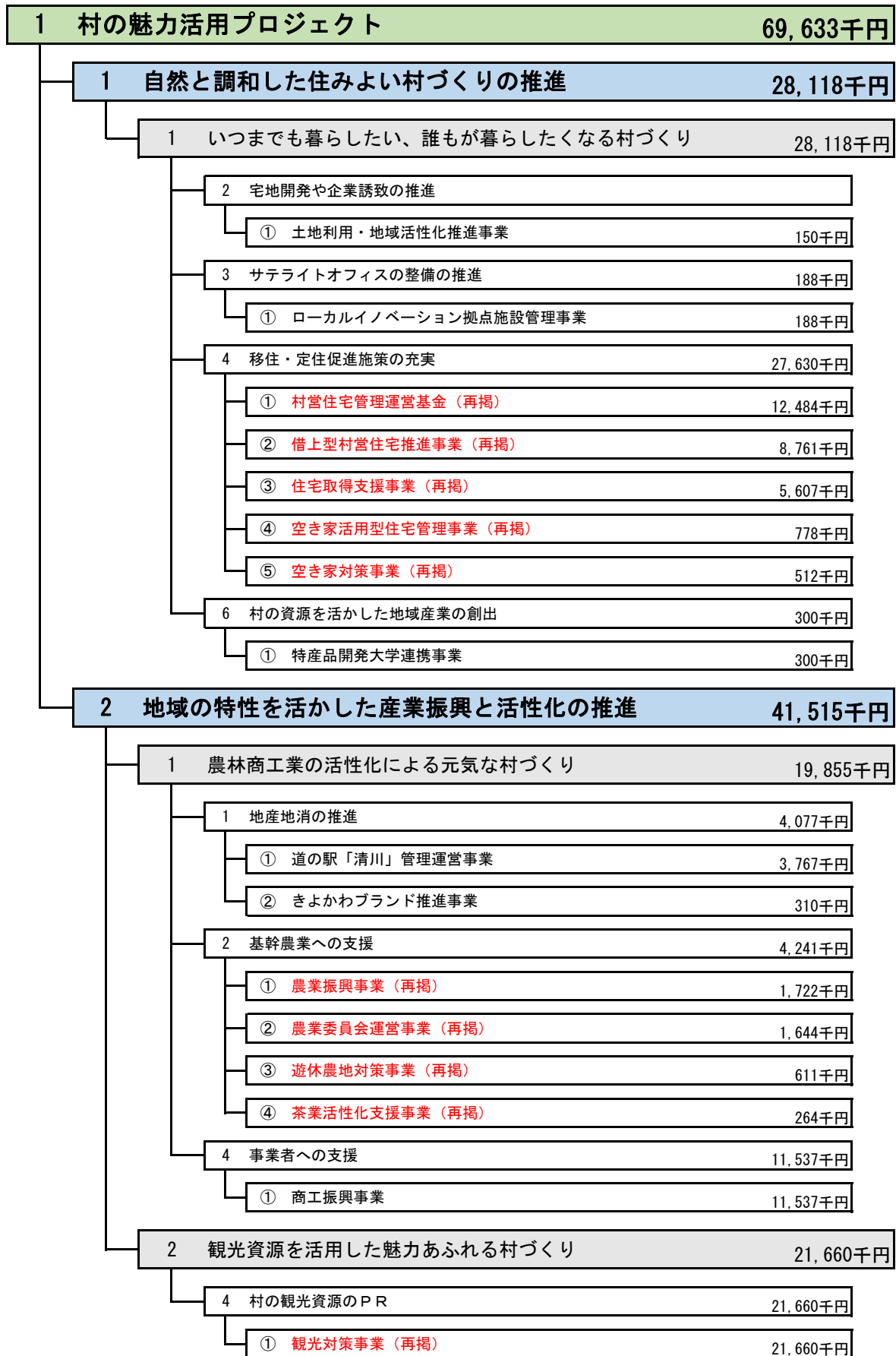
実施計画に掲載する各事業の着実な推進を図るには、PDCAサイクル※（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善））を確立し、適切な進行管理が必要となるため、評価に当たっては、プロジェクトごとに設定した重要業績評価指標（KPI）により、プロジェクトの効果を検証・評価します。



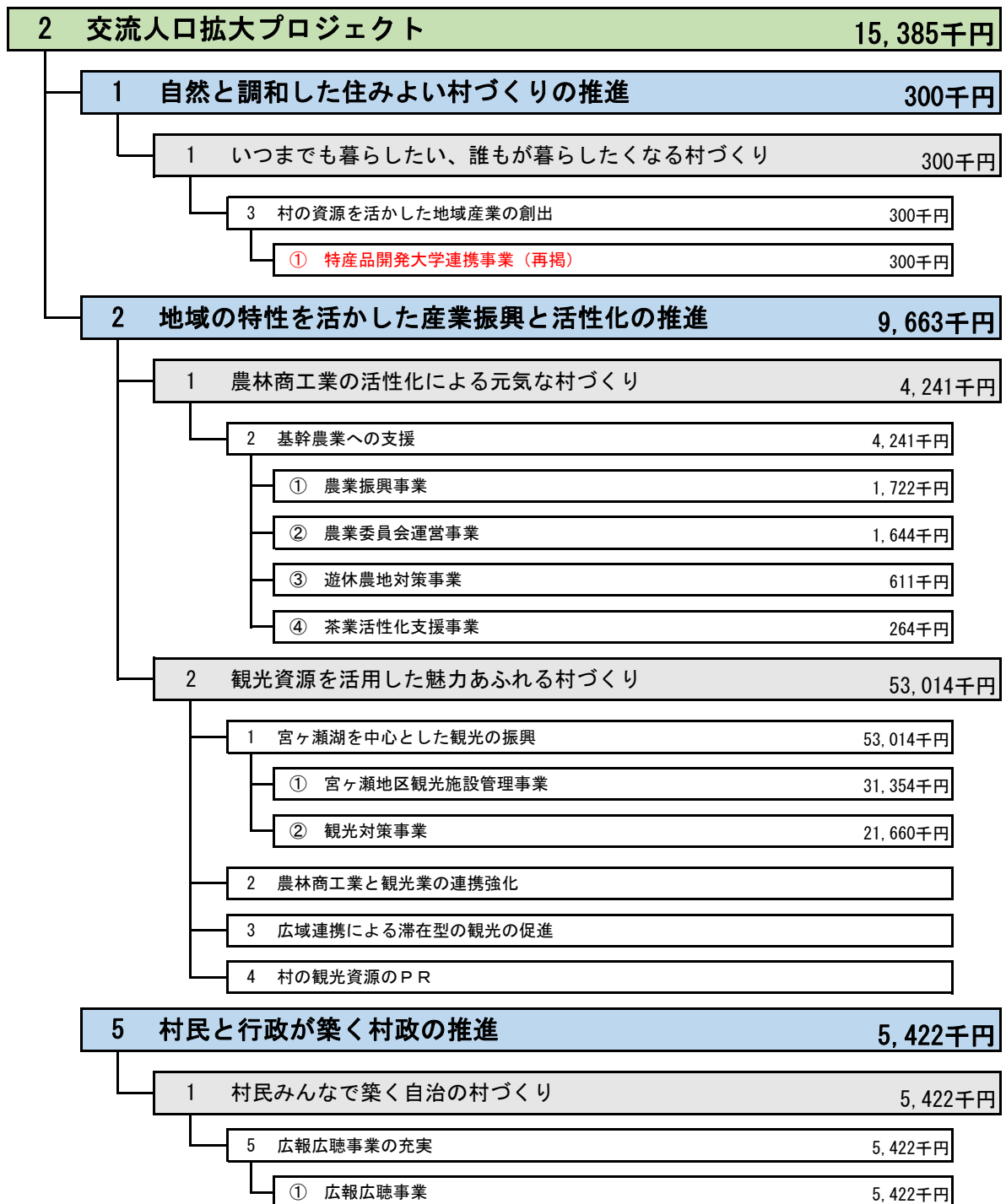
## 8 実績評価

評価については、実績評価作成要領に基づき評価を実施します。

## Ⅱ 実施計画体系図

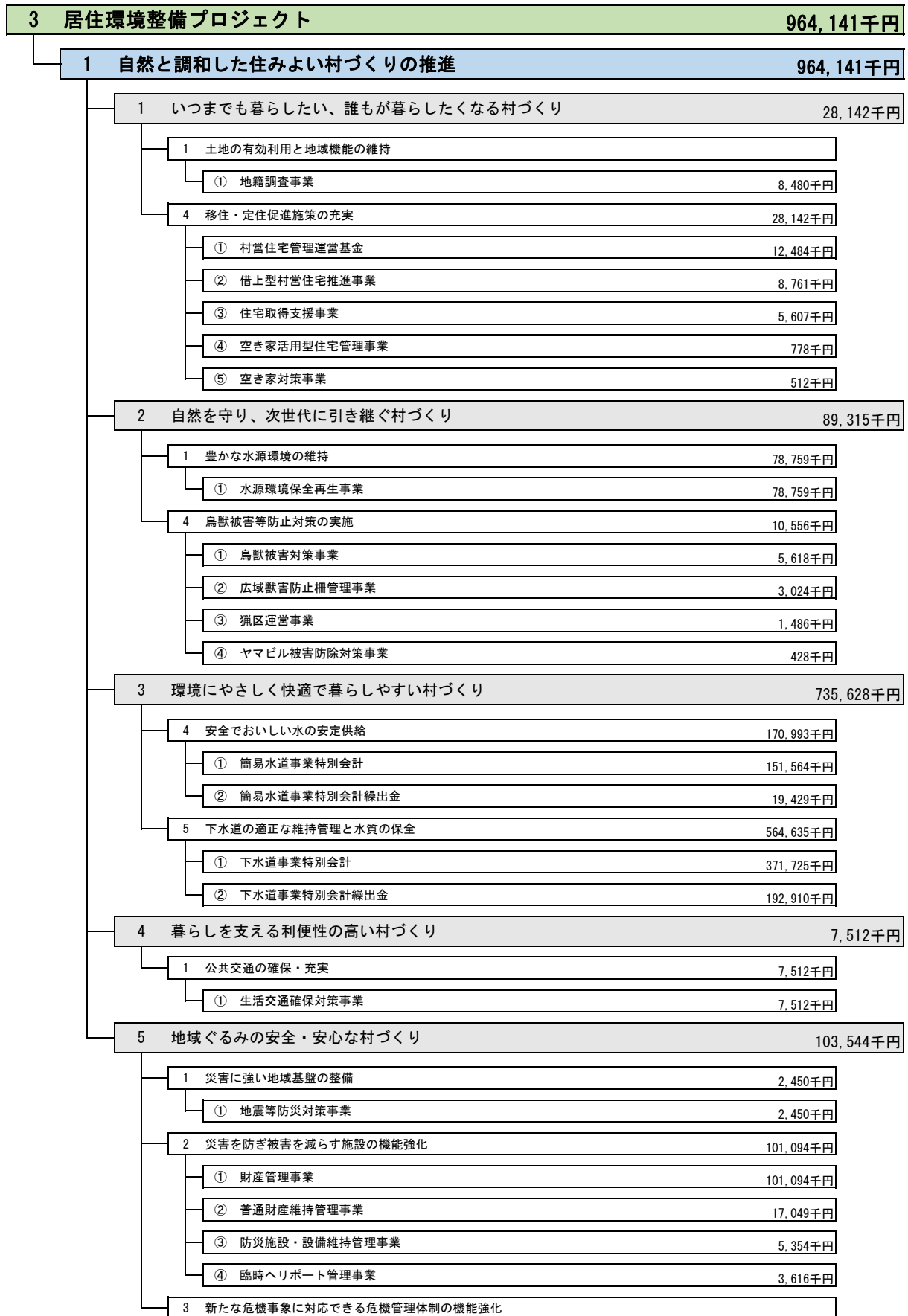


## Ⅱ 実施計画体系図





## II 実施計画体系図



## II 実施計画体系図

<b>3 清川っ子を育むプロジェクト</b>		<b>259,079千円</b>
<b>4 誇りを持って村を支える人づくりの推進</b>		<b>259,079千円</b>
1	将来を担う子どもが輝く村づくり	41,734千円
1	子どもが健やかに育つ環境の整備	20,867千円
①	小児医療費助成事業	8,499千円
②	放課後児童クラブ運営事業	7,844千円
③	子育て支援事業	3,288千円
④	放課後子ども教室事業	1,236千円
5	保育園の充実	99,352千円
①	保育所入所事業	99,352千円
2	心豊かな清川っ子を育む村づくり	185,079千円
1	幼稚園の充実	50,174千円
①	幼稚園管理事業	50,174千円
2	学校教育の充実	34,301千円
①	確かな学力の育成推進事業	29,230千円
②	教育指導・相談事業	5,071千円
3	地域・家庭との連携による幼児教育・学校教育の向上	385千円
①	幼小中一貫校設置推進事業	385千円
4	学校教育環境の整備	100,219千円
①	中学校管理事業	29,236千円
②	給食センター管理事業	23,651千円
③	小学校管理事業	23,058千円
④	ICT教育推進事業	21,189千円
⑤	中学校教育振興事業	1,635千円
⑥	小学校教育振興事業	1,450千円
3	生涯にわたり学び合える村づくり	32,266千円
1	生涯学習・生涯スポーツの環境整備	30,183千円
①	せせらぎ館管理運営事業	11,161千円
②	図書館管理運営事業	8,601千円
③	運動公園管理運営事業	5,611千円
④	清川やまびこマラソン大会	2,000千円
⑤	夏季ブルー一般開放事業	1,592千円
⑥	文化振興事業	674千円
⑦	生涯スポーツ推進事業	403千円
⑧	生涯学習推進事業	141千円
2	村の歴史・文化資源の保護と伝承	2,083千円
①	文化伝承・文化財保護推進事業	1,083千円
②	青龍祭	1,000千円

## II 実施計画体系図

<b>5 高齢者の活力創出プロジェクト</b>		<b>440,975千円</b>
<b>1 自然と調和した住みよい村づくりの推進</b>		
1	いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり	
5	生活利便性の向上	
<b>3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進</b>		<b>405,856千円</b>
1	健康で明るく暮らせる村づくり	340,229千円
1	疫病予防・感染症予防の活動の充実	5,159千円
①	やまびこ健診事業	5,159千円
2	総合的な健康づくりの実施・充実	3,496千円
①	やまびこ館管理運営事業	3,022千円
②	健康増進事業	474千円
3	地域医療サービスの充実	8,486千円
①	宮ヶ瀬診療所運営事業	3,210千円
②	医療対策事業	2,826千円
③	地域医療支援事業	2,450千円
5	各種保険サービスの充実	323,088千円
①	介護保険事業特別会計	323,088千円
2	だれもが安心して生活できる村づくり	65,627千円
1	高齢化社会に備えた体制の整備	11,141千円
①	老人福祉総務事業	4,112千円
②	敬老事業	1,927千円
③	高齢者在宅支援事業	1,694千円
④	在宅療養者支援事業	1,596千円
⑤	高齢者見守り事業	975千円
⑥	高齢者の生きがいと健康づくり事業	566千円
⑦	高齢者オーラルフレイル健康診査事業	163千円
⑧	高齢者運転免許証自主返納者支援事業	108千円
3	地域ぐるみの福祉活動の充実	54,486千円
①	社会福祉総務事業	54,486千円
<b>4 誇りを持って村を支える人づくりの推進</b>		<b>30,183千円</b>
3	生涯にわたり学び合える村づくり	30,183千円
1	生涯学習・生涯スポーツの環境整備	30,183千円
①	せせらぎ館管理運営事業（再掲）	11,161千円
②	図書館管理運営事業（再掲）	8,601千円
③	運動公園管理運営事業	5,611千円
④	清川やまびこマラソン大会（再掲）	2,000千円
⑤	夏季ブルー一般開放事業（再掲）	1,592千円
⑥	文化振興事業（再掲）	674千円
⑦	生涯スポーツ推進事業（再掲）	403千円
⑧	生涯学習推進事業（再掲）	141千円
<b>5 村民と行政が築く村政の推進</b>		<b>4,936千円</b>
1	村民みんなで築く自治の村づくり	4,936千円
1	地域コミュニティの育成・支援	4,936千円
①	集会施設等維持管理事業	2,824千円
②	コミュニティ活動支援事業	2,062千円
②	地域コミュニティ活性化事業	50千円
2	地域コミュニティによる地域課題の解決の支援	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業者の 誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数	道の駅新規 販売品目数
	10事業所	30人	1校	30品目

目 標 達 成 度				
年度／区分	新規事業者の 誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数	道の駅新規 販売品目数
令和元年度 (2019年)	3事業所	55人	1校	24品目
令和2年度 (2020年)	4事業所	38人	0校	0品目
令和3年度 (2021年)	3事業所	26人	0校	0品目
令和4年度 (2022年)	4事業所	24人	0校	15品目
令和5年度 (2023年)	—	—	—	—
計	14事業所	143人 (年平均35.8人)	1校	39品目

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
101	土地利用・地域活性化推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
102	ローカルイノベーション拠点施設管理事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
103	村営住宅管理運営基金費（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
104	借上型村営住宅推進事業（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
105	住宅取得支援事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
106	空き家活用型住宅管理事業（再掲）	C	廃止 課題等が多く、事業を廃止します
107	空き家対策事業（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
108	特産品開発大学連携事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
109	道の駅「清川」管理運営事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
110	きよかわブランド推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
111	農業振興事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
112	農業委員会運営事業（再掲）	B	継続 課題があるが、継続して実施します
113	遊休農地対策事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
114	茶業活性化支援事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
115	商工振興事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
116	観光対策事業（再掲）	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

目標達成への課題	
新規事業者の誘致数	令和３年度に目標を達成しましたが、更なる活性化に向けた企業誘導等により、新たに４事業所が村内に拠点を構えました。
新規雇用者数	目標は達成していますが、さらなる活性化に向け企業誘導を積極的に推進し、雇用者の創出を促します。
特産品開発に係る連携大学数	新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた相模女子大学との連携を徐々に再開し、現在活動に取組んでいます。
道の駅新規販売品目数	季節的な商品の販売がされるなど新j気販売品目が増え、目標を達成しました。


目標指針の今後の方向性・方針	
新規事業者の誘致数	愛甲商工会との連携による創業支援のほか、積極的な土地利用、サテライトオフィスの活用により、引き続き企業誘導を促進します。
新規雇用者数	引き続き、新規参入企業や創業者に対する積極的な村内雇用の推進と、働く場の創出に取り組みます。
特産品開発に係る連携大学数	村内事業者との連携を強化し、新たな特産品開発による村の認知度向上や若年層に対するアプローチを推進します。
道の駅新規販売品目数	農産物生産促進事業をはじめとする道の駅への出荷促進を継続して実施するほか、販売エリアの拡充や新規特産品の商品化を推進します。
【備考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)
	10事業所		30人	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	101 土地利用・地域活性化推進事業			担当部署 まちづくり課
事業概要	自然環境の保全を図るとともに、地域の諸条件を考慮し健康で文化的な生活環境を整備することで、豊かな生産活動が営まれる土地利用を推進します。			区 分 拡充
				令和4年度 150 千円
				令和5年度 予算編成時協議
				令和6年度

事 業 実 績						
事業費	予算現額	150,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	35,000 円	清川村特定地域土地利用計画に基づく土地利用を推進するため、清川村土地利用推進委員会を開催しました。 ○土地利用推進委員会：1 回			
事業成果		自然環境の保全を図りつつ地域の自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件を考慮し、健康で文化的な生活環境の整備と豊かな生活活動が営まれる土地利用の推進を図ることができました。	課 題	企業の誘導を促し、地域の一層の活性化を図る必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大		<b>【理由】</b> 清川村特定地域土地利用計画に基づく土地利用の推進、また、ホテル等の建築の適正化を図るため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	○
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)
	10事業所		30人	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	102 ローカルイノベーション拠点施設管理事業			担当部署 産業観光課
事業概要	平成30年度に整備したローカルイノベーション拠点施設のサテライトオフィス「むらてらす」の維持管理を行います。都市部から企業を誘致するほか、村内起業者の場として活用することで、地域経済の活性化や若年層の雇用の場を創出し、人口流出の抑止を図ります。			区 分 継続
				令和4年度 188 千円
				令和5年度 予算編成時協議
				令和6年度

事業実績							
事業費	予算現額	308,166 円	主な実績内容				
	決算額	308,166 円	ローカルイノベーション拠点施設の維持管理を行い、利便性向上に努めました。				
事業成果		村内への進出希望企業との連携により、1事業者の入居決定に繋がりました。		課題	現在2部屋が入居者決定に至っていないことから、引き続きオフィスの認知度向上、入居者の決定に向けた情報発信が必要です。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		B		拡大	<div>【理由】 企業誘致や雇用創出の場、移住定住などを図る上での重要な拠点であり、入居事業者による地域活性化に寄与する取り組みを検討していく場でもあることから、継続して実施します。</div>	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		



# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	○
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	103 村営住宅管理運営基金費（再掲）			担当部署	まちづくり課	
事業概要	村営住宅の維持管理のため、村営住宅使用料（一般住宅、子育て世代型住宅）から必要経費を差し引いた余剰金等の積立てを行います。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	12,484 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事業実績					
事業費	予算現額	11,808,000 円	主な実績内容		
	決算額	11,807,461 円	村営住宅（一般住宅・子育て世代型住宅）の入居者より預かる使用料等から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金について、今後の施設更新等に要する資金として積み立てを行いました。		
事業成果		村営住宅入居者より預かる使用料から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金を積み立てることで計画的かつ継続的な経営ができ、将来の施設更新等に備えることができました。	課題	築年数が古く老朽化が進んでいる施設が多いことから、今後修繕の件数増加が見込まれるため、退去時の大規模修繕等計画的に行っていく必要があります。	
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	理由
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	引続き基金の積み立てを行うことで、計画的かつ継続的な財政運営を行います。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標							
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)		新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)		
		10事業所	30人	1校	30品目		
位置付け		施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
		基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
		基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)		104 借上型村営住宅推進事業（再掲）			担当部署	まちづくり課	
事業概要		村民が自ら所有する土地に建設する整備基準を満たす住宅を村が村営住宅として15年間借り受け、若年層で子どもを扶養している方に対し優先的に転貸することで、村内の地域活性化や移住・定住促進を図ります。			事業費	区 分	継続
						令和4年度	8,761 千円
						令和5年度	予算編成時協議
						令和6年度	

事業実績						
事業費	予算現額	8,761,000 円		主な実績内容		
	決算額	8,502,563 円		村民が自ら所有する土地に整備基準を満たした住宅を建築した際に村が当該住宅を村営住宅として借上げ、村内に居住を希望する方に転貸し、適正な管理運営を行いました。 戸数：7戸		
事業成果		村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、人口増もって地域活性化を図ることができました。		課題	令和7年度以降、住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が順次満了を迎えることから、今後、事業の見直し及び代替事業の研究が必要です。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 村営住宅として借り受け、村への移住・定住を希望する方に対し転貸することで、村内への移住・定住施策の安定、もって人口増、地域活性化を図ることが見込まれるため継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	105 住宅取得支援事業（再掲）			担当部署	まちづくり課	
事業概要	移住・定住促進及び地域経済の活性化を図ることを目的に、新築及び中古住宅を建築・取得した方への助成のほか、住宅の新築・増改築・購入のために金融機関から融資を受けた方へ利子補給金を交付します。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	5,607 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事業実績							
事業費	予算現額	2,907,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	2,556,800 円	村内において新築または中古住宅を取得した方に対し、次のとおり支援を行いました。 ○住宅取得奨励金：4件 1,400,000円 ○勤労者等住宅資金利子補給金：20件 1,149,800円				
事業成果		村への移住・定住を決めた方に対し支援を行ったことで人口増もって地域活性化を図ることができました。		課 題	村への移住・定住を希望する方に対し、更なる制度の認知度を上げるとともに人口増を図るべく情報発信が必要です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 魅力ある制度として情報を提供することで、村へ移住・定住を希望する方に対し、興味をもていただき、将来の人口増もって地域活性化に資するため継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	106 空き家活用型住宅管理事業（再掲）			担当部署	まちづくり課	
事業概要	個人が所有し、居住していない住宅を村営住宅として借り受け、転貸することで、村内の地域活性化や移住・定住促進を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	778 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事業実績						
事業費	予算現額	775,000 円	主な実績内容			
	決算額	724,723 円	個人が所有し、居住していない村内の住宅を村が村営住宅として借上げ、村内に居住を希望する方に転貸し、適正な管理運営を行いました。 戸数：1戸			
事業成果		個人が所有し、居住していない住宅（いわゆる空家）を村が村営住宅として借上げ、村内に移住・定住を希望する方に転貸しました。		課題	令和4年度で住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が満了を迎えたことから、当該事業を終了します。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 令和4年度で住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が満了を迎えたことから、当該事業を終了します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続			
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止		○	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	C	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止	○	

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		○
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		○
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		○
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		○
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	104 借上型村営住宅推進事業（再掲）			担当部署	まちづくり課	
事業概要	人口減少・少子高齢化に伴い、適正に管理されない空き家等が周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから、空き家を賃貸用住宅としてリフォームする所有者または入居者に対し、リフォーム費用、家財道具処分費の補助を行うことで、移住・定住促進を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	8,761 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	294,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	293,821 円	村内の空き家の情報収集をはじめ、所有者や入居者に対し、空き家への支援制度等の情報提供を行い、空き家の有効活用を促し、村内への移住・定住の推進に努めました。 ○空き家賃貸用住宅リフォーム補助金 1件 287,000円			
事業成果		空き家所有者や入居者に対し、情報提供しましたが、事業利用者は1名でした。		課題	空き家の所有者や入居者に対し、当該事業を活用いただけるよう更なる広報周知を図り、空き家の有効活用もって人口増につなげる必要があります。	
評 価				<div>B</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 空き家の有効活用もって人口増につなげる必要があるため、継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	108 特産品開発大学連携事業			担当部署	産業観光課	
事業概要	令和元年度に連携と協力に関する包括協定を締結した相模女子大学と連携し、地域課題解決に共同で取り組みます。また、地域経済の活性化や学生目線での新たな魅力創出のため、地域資源を活用した特産品開発に取り組みます。研究開発したレシピを村内飲食店と連携しPRすることで交流人口の増加及び地域の活性化を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	300 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事 業 実 績							
事業費	予算現額	300,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	226,029 円	清川村の特産品である「お茶」を活用したレシピ開発を行い、宮ヶ瀬クリスマスイベントにて試験販売を行いました。				
事業成果		1年間の活動を通じて、清川茶を活用したレシピ2品を開発しました。 ○清川茶ラテ ○清川茶パオ		課題	遠方に居住する学生が多かったほか、授業や実習等の都合によりレシピの開発や試作に要する時間の確保が課題となっています。		
評 価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 次年度も引き続き「お茶」を活用した特産品開発を継続的に 行い、村産食材の魅力向上・発信 を行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)
	10事業所		30人	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	109 道の駅「清川」管理運営事業			担当部署 産業観光課
事業概要	道の駅「清川」の指定管理者と連絡調整を行い、道路利用者へ良好な休憩の場を提供するとともに、地域情報の発信等による村民と来訪者との交流を促進し、農産物等の地場産品の販売による地域産業の振興及び地域経済の活性化を推進するため、適正な管理運営を行います。			区 分 継続
				令和4年度 3,767 千円
				令和5年度 予算編成時協議
				令和6年度

事業実績						
事業費	予算現額	3,719,000 円	主な実績内容			
	決算額	3,581,584 円	○指定管理委託料：1,200,000円 ○駐車場用地賃借料：892,054円 ○公衆トイレ便器自動洗浄機設置工事：286,000円			
事業成果		指定管理制度により（株）アグリメディアを指定管理者として、道の駅「清川」の適正な管理運営が図られました。		課題	人件費や光熱水費などの高騰により、指定管理者における事業運営にも影響が出ています。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 引き続き、民間の経営手法やノウハウを活用し、観光拠点の一つとして魅力ある道の駅となるよう、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		


評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	110 きよかわブランド推進事業			担当部署	産業観光課	
事業概要	地域特産物の消費拡大や普及を目的として、新たにきよかわブランドの認定制度を創出し、地域ぐるみで村の知名度の向上を図ります。また、認定商品については、今後、地域セールスの一環として、地域特産物の生産性の向上、地場産品の消費拡大等を目的に、村の魅力とともに県内外に広くPRします。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	310 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事業実績						
事業費	予算現額	260,000 円	主な実績内容			
	決算額	200,965 円	○特産物普及啓発物品購入 茶ほか：140,965円 ○きよかわブランド指定準備会議（委員5名）：1回開催 ○きよかわブランド認定審査委員会（委員5名）：1回開催			
事業成果		村の特産物を配布することにより、消費拡大及び普及啓発が図られました。また、「きよかわブランド」認定制度を創設し、13品目を認定しました。		課題	ブランド認定品の販路や消費を拡大するため、PRの手法を強化する必要があります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		B		拡大	【理由】 地場産品の消費拡大により、地域の活性化をはじめ、基幹産業の活性化に寄与することから、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)
	10事業所		30人	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	112 農業委員会運営事業(再掲)			担当部署 産業観光課
事業概要	かけがえのない農地と担い手を守るとともに、遊休農地対策等農地の利用の最適化を推進し、遊休農地の減少や新規就農者の発掘・育成等を図ります。			区 分 継続
				令和4年度 1,644 千円
				令和5年度 予算編成時協議
				令和6年度

事業実績						
事業費	予算現額	1,644,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,615,836 円	農業者の公的代表機関として、農地の保全と有効利用を推進するべく農地法等の法令業務の厳正かつ的確な執行を図るとともに、本村農政の現状と将来の課題について農家の意向を踏まえ、関係機関への要望を行いました。また、農業委員と農政部局が両輪となり、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定手法を活用した遊休農地等のあっ旋、村就農予備校研修事業等新たな農業担い手の発掘、育成等を行いました。			
事業成果		農業委員会において農地等の利用の最適化の推進に資することができました。		課題	新たな担い手の発掘や新規就農者のあっせんを含め、遊休・荒廃農地対策の推進が必要です。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 農業担い手への農地利用の集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等農地の利用の最適化を推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	○
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数	新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)
	10事業所	30人	1校	30品目
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進		
計画事業 (予算事業)	113 遊休農地対策事業(再掲)		担当部署	産業観光課
事業概要	村及び村農業委員会が中心となって関係機関と連携し、研修圃場を運用することにより、有効な農地活用のための担い手の確保及び育成を支援します。また、農地の貸し借りを奨励する流動化奨励金や農地バンク制度を推進し、遊休農地の解消を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	611 千円
			令和5年度	予算編成時協議
			令和6年度	

事業実績					
事業費	予算現額	611,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	420,083 円	村及び農業委員会が中心となって関係機関と連携し、村内の遊休農地の活用を図るため、神奈川県農業公社が借り受けた1,135㎡の遊休農地を村の研修農場とし、7名が耕作を継続しました。また、遊休農地対策を効率的に実施するための粉砕機を購入しました。		
事業成果		研修農場利用者　： 7 名 農地の利用権設定： 1 組（2,523㎡）		課 題	
				不耕作地の減少に寄与している有効な事業であるものの、高齢化等による耕作放棄も常態化しており、対策を検討する必要があります。	
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 引き続き農地の利用権設定を推進するとともに、研修農場を修了した方々が就農できる環境・制度づくりを推進します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
				廃 止	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		


評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	114 茶業活性化支援事業（再掲）			担当部署	産業観光課	
事業概要	村の基幹農業の一つである茶業支援として、チャピュア清川が管理する大型茶園に設置した茶防霜施設や茶特有の害虫に対する薬剤購入費への支援を行い、茶業の生産性向上を図ることで、村の地域資源の魅力創出を推進します。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	264 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事 業 実 績						
事業費	予算現額	264,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	195,000 円	○茶防霜施設整備費償還金等補助金：1 件（81.0 a） ○茶病害虫等被害対策事業補助金：1件（60.0a）			
事業成果		防霜施設及びクワシロカイガラムシ防除の補助により、基幹作物である茶の生産性向上と経営の安定化を図ることができました。		課題	茶生産者の高齢化による担い手不足及び荒茶の買い取り価格下落により、茶生産をやめる生産者が増加しています。	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 茶の晩霜被害防止及びクワシロカイガラムシによる茶樹被害を防止するため、継続して事業を実施します。 また、茶業維持のため、茶の販路拡大に向けた対策を検討します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数	特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人	1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進				
計画事業 (予算事業)	115 商工振興事業			担当部署	産業観光課	
事業概要	村の地域経済を支える商工業を営む事業者の経営安定及び起業家支援のため、中小企業等を対象に村独自の事業資金融資制度等を実施するほか、住民生活環境向上を目的に、村内事業者を対象とした住宅リフォーム助成制度を行い、地域経済の活性化を図ります。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	11,537 千円
					令和5年度	予算編成時協議
					令和6年度	

事業実績					
事業費	予算現額	6,460,500 円	主な実績内容		
	決算額	6,296,650 円	村内に居住して商工業を営む事業者に必要な資金の融資・借入に対し、各種補助等を実施しました。また、個人住宅のリフォーム工事に対する助成金を交付したほか、清川村商工共栄会へ補助金を支出し、事業者団体の活動への支援を行いました。		
事業成果		住宅リフォーム助成金においては、31件の申請を受け、村内事業者の活用が促進され、村民の住宅環境の向上のほか、事業者への支援を図ることができました。	課題	中小企業事業資金融資事業について、村内事業者の利用促進を図るため、取扱金融機関の拡大など検討が必要です。また、村外からの誘致企業に対する助成制度の構築等、検討が必要です。	
評価			<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	理由
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	
				村内事業者を支える各種補助制度や、事業者団体への補助金など、今後も継続的な支援を行っていく必要があるため、継続して実施します。	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	1 村の魅力活用プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標							
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	新規事業所の誘致数		新規雇用者数		特産品開発に係る 連携大学数 (短期大学を含む)	道の駅新規販売品目数 (村産品利用品目数)	
	10事業所		30人		1校	30品目	
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進					
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり					
	基本施策	3 サテライトオフィスの整備の推進					
計画事業 (予算事業)	116 観光対策事業（再掲）				担当部署	産業観光課	
事業概要	村を来訪する観光客への情報の提供や、各種協議会と一体となった観光キャンペーンを実施し、村の観光PRを行います。また、宮ヶ瀬湖周辺地域を中心とした観光イベントや各種実行委員会等の支援を行い、地域の観光及び地域経済の活性化を図ります。				事業 費	区 分	拡充
						令和4年度	21,660 千円
						令和5年度	予算編成時協議
						令和6年度	

事業実績							
事業費	予算現額	22,160,000 円	主な実績内容				
	決算額	21,916,030 円	○清川村ガイドブックの内容更新及び増刷（30,000部） ○宮ヶ瀬桜まつりは規模を縮小して実施、宮ヶ瀬ふるさとまつりは日程を分散し開催、宮ヶ瀬クリスマスについては通常開催としました。				
事業成果		定期的な観光PRや情報発信、イベントの開催により、来訪者増加に寄与することができました。		課題	新型コロナウイルス感染症の影響により停滞した宮ヶ瀬地区イベントについて、実行委員会との連携を通じ、運営手法の見直しや、更なる関係人口増加に向けた取り組みを検討していく必要があります。		
評価				A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 PR手法について、新たな媒体の活用を検討し、効果的な認知度の向上を図る必要があるため、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%

目 標 達 成 度				
年度/区分	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
令和元年度 (2019年)	4件	158万人/年	62万件/年	0%
令和2年度 (2020年)	1件	165万人/年	88万件/年	0%
令和3年度 (2021年)	0件	240万人/年	82万件/年	0.47%
令和4年度 (2022年)	1件	230万人/年	79万件/年	0.71%
令和5年度 (2023年)	—	—	—	—
計	6件	230万人/年	79万件/年	1.18%

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
201 特産品開発大学連携事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
202 農業振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
203 農業委員会運営事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
204 遊休農地対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
205 茶業活性化支援事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
206 宮ヶ瀬地区観光施設管理事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
207 観光対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
208 広報広聴事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

目 標 達 成 へ の 課 題	
新規イベント数	既存イベントの運営体制や財源確保策等について、関係団体と検討を行う必要があります。
観光入込客数	目標を達成していますが、イベント開催などに伴い月ごとの増減幅が大きいことから、閑散期における来訪を促す取組を検討する必要があります。
村ホームページ アクセス数	観光情報やイベント関連ページへのアクセスが集中しており、実施状況に応じて全体のアクセス数が大きく変動していることから、利便性の向上と村民利便性の向上に向けた手法を検討する必要があります。
不耕作地減少率	農地賃借を促し、2,523㎡の不耕作地が解消しましたが、農地所有者の高齢化や担い手不足により新たな不耕作地が生じています。

目標指針の今後の方向性・方針	
新規イベント数	補助金等の活用や民間活力を取り入れ、新規イベントの誘致を推進します。
観光入込客数	新規イベント等の誘致と併せ、年間を通して来訪いただける取組を検討します。
村ホームページ アクセス数	情報量の充実を図るほか、利用者ニーズの把握、村ホームページへの積極的な誘導により、利便性の向上を図ります。
不耕作地減少率	所有者の意向確認や関係機関との連携を継続し、引き続き新たな対策の検討と不耕作地の減少に向け取り組みを継続します。
【 備 考 】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	201 特産品開発大学連携事業(再掲)		担当部署	産業観光課
事業概要	令和元年度に連携と協力に関する包括協定を締結した相模女子大学と連携し、地域課題解決に共同で取り組みます。また、地域経済の活性化や学生目線での新たな魅力創出のため、地域資源を活用した特産品開発に取り組みます。研究開発したレシピを村内飲食店と連携しPRすることで交流人口の増加及び地域の活性化を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	300 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	300,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	226,029 円	令和4年度は清川村の特産品である「お茶」を活用したレシピ開発を行い、宮ヶ瀬クリスマスイベントにて試験販売を行った。			
事業成果		1年間の活動を通じて、清川茶を活用したレシピ2品を開発しました。（清川茶ラテ・清川茶パオ）	課 題	遠方に居住する学生が多かったほか、授業や実習等の都合によりレシピの開発や試作に要する時間の確保が課題となっています。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大		【理由】 次年度も引き続き「お茶」を活用した特産品開発を継続的に行う。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		





第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		


評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	202 農業振興事業		担当部署	産業観光課
事業概要	農林業及び商工業を村内外に広く紹介するとともに、村産業の発展と振興を図る目的で産業まつりを実施するほか、道の駅「清川」を中心とした農業活性化や魅力創出として、農作物の作付け費用や農業振興に係る団体への支援を実施し、地産地消商品の消費拡大の推進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,722 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	1,622,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,569,136 円	・農産物生産促進補助金 10件、100,000円 ・畜産防疫対策事業補助金 1件、600,000円 ・産業まつり交付金 448,210円			
事業成果		産業まつりの実施及び農産物生産促進補助により、農業の発展と生産性向上が図られました。また、豚熱ワクチンの補助により、畜産経営の安定を図ることができました。		課 題 道の駅「清川」への出荷者が高齢化しており、担い手の確保策の検討が必要です。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 道の駅「清川」への農産物出荷促進に有効な補助金であるため継続します。また、県内における豚熱の感染状況を注視しながら、事業継続について検討します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
				統 合		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	203 農業委員会運営事業		担当部署	産業観光課
事業概要	かけがえない農地と担い手を守るとともに、遊休農地対策等農地の利用の最適化を推進し、遊休農地の解消や新規就農者の発掘・育成を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,644 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	1,644,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,615,836 円	農業者の公的代表機関として、農地の保全と有効利用を推進するべく農地法等の法令業務の厳正かつ的確な執行を図るとともに、本村農政の現状と将来の課題について農家の意向を踏まえ、関係機関への要望を行いました。また、農業委員と農政部局が両輪となり、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定手法を活用した遊休農地等のあっ旋、村就農予備校研修事業等新たな農業担い手の発掘、育成等を行いました。			
事業成果	農業委員会において農地等の利用の最適化の推進に資することができました。		課題	新たな担い手の発掘や新規就農者のあっせんを含め、遊休・荒廃農地対策の推進が必要です。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 農業担い手への農地利用の集約化や遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等農地の利用の最適化を推進します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	○
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	204 遊休農地対策事業		担当部署	産業観光課
事業概要	村及び村農業委員会が中心となって関係機関と連携し、研修圃場を運用することにより、有効な農地活用のための担い手の確保及び育成を支援します。また、農地の貸し借りを奨励する流動化奨励金や農地バンク制度を推進し、遊休農地の解消を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	611 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	611,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	420,083 円	村及び農業委員会が中心となって関係機関と連携し、村内の遊休農地の活用を図るため、神奈川県農業公社が借り受けた1,135㎡の遊休農地を村の研修農場とし、7名が耕作を継続しました。また、遊休農地対策を効率的に実施するための粉碎機を購入しました。				
事業成果		研修農場利用者 ： 7 名 農地の利用権設定： 1 組 (2,523㎡)		課 題	不耕作地の減少に寄与している有効な事業であるものの、高齢化等による耕作放棄も常態化しており、対策を検討する必要があります。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 引き続き農地の利用権設定を推進するとともに、研修農場を修了した方々が就農できる環境・制度づくりを推進します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	205 茶業活性化支援事業		担当部署	産業観光課
事業概要	村の基幹農業の一つである茶業支援として、チャピュア清川が管理する大型茶園に設置した茶防霜施設や茶特有の害虫に対する薬剤購入費への支援を行い、茶業の生産性向上を図ることで、村の地域資源の魅力創出を推進します。		区 分	継続
			令和4年度	264 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	264,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	195,000 円	・ 茶防霜施設整備費償還金等補助金：1 件（81.0 a） ・ 茶病害虫等被害対策事業補助金：1 件（60.0a）			
事業成果		防霜施設及びクワシロカイガラムシ防除の補助により、基幹作物である茶の生産性向上と経営の安定化を図ることができました。	課 題	茶生産者の高齢化による担い手不足及び荒茶の買い取り価格下落により、茶生産をやめる生産者が増加しています。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 茶の晩霜被害防止及びクワシロカイガラムシによる茶樹被害を防止するため、継続して事業を実施します。 また、茶業維持のため、茶の販路拡大に向けた対策を検討します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			





第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数		観光入込客数	村ホームページ アクセス数
	10件		230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	206 宮ヶ瀬地区観光施設管理事業			担当部署 産業観光課
事業概要	村の観光拠点である宮ヶ瀬地区に整備した公共施設及び虹の妖精、プロムナード霧噴水等の観光施設等の適正な維持管理を行います。また、多目的ボードを新設することで、新たな魅力創出及び情報提供の場として活用し、観光客の誘致誘導の推進を図ります。			区分 拡充
				令和4年度 31,354 千円
				令和5年度 予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	35,995,140 円	主な実績内容				
	決算額	24,275,640 円	プロムナード霧噴水及び大噴水「虹の妖精」、観光公衆トイレ（宮の平・水の郷）の適正な維持管理及び施設改修工事等を実施しました。また、水の郷第2・3駐車場へ新たな魅力創出のため、ポルダリングボードの設置を行いました。				
事業成果		各観光施設の適正な管理により観光客の利便性向上を図ることができました。		課題	施設の老朽化における設備の修繕や改修工事等の増加が見込まれます。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		B		拡大	【理由】 引き続き観光客増加や地域経済の活性化のため、施設利用者ニーズに対応した利便性や快適性を向上を図る必要があるため、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	207 観光対策事業		担当部署	産業観光課
事業概要	村を来訪する観光客への情報の提供や、各種協議会と一体となった観光キャンペーンを実施し、村の観光PRを行います。また、宮ヶ瀬湖周辺地域を中心とした観光イベントや各種実行委員会等の支援を行い、地域の観光及び地域経済の活性化を図ります。		区 分	拡充
			令和4年度	21,660 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	22,160,000 円	主な実績内容			
	決算額	21,916,030 円	(1) 清川村ガイドブックの内容更新及び増刷（30,000部） (2) 宮ヶ瀬桜まつりは規模を縮小して実施、宮ヶ瀬ふるさとまつりは日程を分散し開催、宮ヶ瀬クリスマスについては通常開催としました。			
事業成果		定期的な観光PRや情報発信、イベントの開催により、来訪者増加に寄与することができました。	課題	新型コロナウイルス感染症の影響により停滞した宮ヶ瀬地区イベントについて、実行委員会との連携を通じ、運営手法の見直しや、更なる関係人口増加に向けた取り組みを検討していく必要があります。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 PR手法について、新たな媒体の活用を検討し、効果的な認知度の向上を図る必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	2 交流人口拡大プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規イベント数	観光入込客数	村ホームページ アクセス数	不耕作地減少率
	10件	230万人/年 (2017年 218万人)	100万件/年 (2017年 60万件)	10%
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	6 村の資源を活かした地域産業の創出		
計画事業 (予算事業)	208 広報広聴事業		担当部署	総務課
事業概要	広報紙やホームページ、FMラジオを活用し、村政情報を広く周知するとともに、住民懇談会や「村長への手紙」等により村民の意見や要望を広く聴くことで、住民との協働を目指した村政運営を推進します。		区 分	継続
			令和4年度	5,422 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績				
事業費	予算現額	5,000,657 円	主な実績内容	
	決算額	4,798,754 円	広報紙「きよかわ通信」の発行をとおして、村の事業や施策などの村政情報を広く周知進するとともに、広聴活動（村長への手紙）を展開することで、村民参加の村づくりと村民の声を活かした行政運営に努めました。また、複雑・多様化する法律問題に対し、村民に対する法的支援を積極的に進めるため、法律相談会を開催しました。	
事業成果		広報紙を年12回発行し、適切に村政情報を周知したほか、住民懇談会を年3回開催し、参加された21人からのご意見・ご提案等を、村政運営の参考とさせていただきます。	課 題	ホームページのアクセス件数が伸び悩んでいることから、より豊富な情報をわかりやすく伝える工夫が必要です。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	【理由】 村の事業や施策などの村政情報を周知するために必要な事業であることから、継続して実施します。また、より効率的・効果的な情報発信に係る方策を検討し、本事業の充実を図ってまいります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)

目 標 達 成 度				
年度/区分	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
令和 元 年度 (2019年)	4戸	9人	27%	6件
令和 2 年度 (2020年)	1戸	27人	33%	12件
令和 3 年度 (2021年)	1戸	18人	33%	6件
令和 4 年度 (2022年)	1戸	16人	33%	1件
令和 5 年度 (2023年)	—	—	—	—
計	7戸	70人	33%	25件

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
301	地籍調査事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
302	村営住宅管理運営基金費	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
303	借上型村営住宅推進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
304	住宅取得支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
305	空き家活用型住宅管理事業	C	廃止 課題等が多く、事業を廃止します
306	空き家対策事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
307	水源環境保全再生事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
308	鳥獣被害対策事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
309	広域獣害防止柵管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します



事業実績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
310 猟区運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
311 ヤマビル被害防除対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
312 簡易水道事業特別会計	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
313 簡易水道事業特別会計繰出金	B	継続	課題があるが、継続して実施します
314 下水道事業特別会計	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
315 下水道事業特別会計繰出金	B	継続	課題があるが、継続して実施します
316 生活交通確保対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
317 地震等防災対策事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
318 財産管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
319 普通財産維持管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
320 防災施設・設備維持管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
321 臨時ヘリポート管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

目標達成への課題	
新規の賃貸住宅（空き家含む）・分譲地供給数	補助制度の拡充等を実施し、空き家所有者に対する周知広報を実施していますが、提供意欲の向上が見られないことから、抜本的な見直しが必要です。
移住・定住促進施策による新規転入者数	物件の供給と併せ、各種補助制度などについて村外への周知を強化する必要があります。
防災訓練参加者率	目標は達成していますが、自然災害が激甚化・頻発化している中で、更なる防災意識の向上に向けた手法を検討する必要があります。
野生鳥獣被害防止柵等設置事業補助金利用件数	道の駅出荷者の利用は多いものの、自家用農作物耕作者の利用が少なく、生活被害防止の観点からの制度活用が進んでいない状況です。


目標指針の今後の方向性・方針	
新規の賃貸住宅（空き家含む）・分譲地供給数	空き家所有者に対する提供意欲の向上に向け、新たな制度構築や民間との連携による仕組みづくりを検討します。
移住・定住促進施策による新規転入者数	住宅取得に係る補助制度や移住者支援メニューを広く周知し、引き続き新規転入者の増加を目指します。
防災訓練参加者率	防災意識の向上による「自助」「共助」の強化と、「公助」機能の強化により地域防災力を強化します。
野生鳥獣被害防止柵等設置事業補助金利用件数	野生鳥獣による農作物被害及び生活被害の防止に向け、当該補助事業の促進を図るほか、地域や関係機関との連携を強化し、さらに効果的な対策手法の構築を目指します。
【備考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	301 地籍調査事業		担当部署	まちづくり課
事業概要	災害復旧の迅速化や土地境界をめぐるトラブルの未然防止等を目的に、国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積の測量を実施します。		区 分	拡充
			令和4年度	8,480 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	7,614,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	7,613,120 円	国土調査法等に基づき災害により土地の形状が変わってしまった場合の早期復旧や土地境界を巡るトラブル防止等のため、村地籍調査事業個別計画にて定めた第1位重点地区の清水ヶ丘団地地区（第1工区）について地籍調査を行いました。			
事業成果		地籍調査を行うことで成果が登記所所有情報（登記簿、地図の更新等）に反映され、固定資産税算出の際の基礎情報となるなど様々な行政事務の基礎資料として活用されました。	課 題	地籍調査を行うに当たり、継続性等を踏まえた研究を行う必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大		【理由】 村地籍調査事業個別計画を定めているため、当該計画に基づいた調査を行う必要があるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	○
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	○
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	302 村営住宅管理運営基金費		担当部署	まちづくり課
事業概要	村営住宅の維持管理のため、村営住宅使用料（一般住宅、子育て世代型住宅）から必要経費を差し引いた余剰金等の積立を行います。		区 分	継続
			令和4年度	12,484 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績				
事業 費	予算現額	11,808,000 円	主な実績内容	
	決算額	11,807,461 円	村営住宅（一般住宅・子育て世代型住宅）の入居者より預かる使用料等から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金について、今後の施設更新等に要する資金として積み立てを行いました。	
事業成果		村営住宅入居者より預かる使用料から施設維持に係る必要経費を差し引いた余剰金を積み立てることで計画的かつ継続的な経営ができ、将来の施設更新等に備えることができました。	課 題	築年数が古く老朽化が進んでいる施設が多いことから、今後修繕の件数増加が見込まれるため、退去時の大規模修繕等計画的に行っていく必要があります。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	<b>【理由】</b> 引続き基金の積み立てを行うことで、計画的かつ継続的な財政運営を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	303 借上型村営住宅推進事業		担当部署	まちづくり課
事業概要	村民が自ら所有する土地に建設する整備基準を満たす住宅を村が 村営住宅として15年間借り受け、若年層で子どもを扶養している方 に対し優先的に転貸することで、村内の地域活性化や移住・定住促 進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	8,761 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績				
事業 費	予算現額	8,761,000 円	主な実績内容	
	決算額	8,502,563 円		
事業成果		村営住宅として借り受け、村への移住・定住を 希望する方に対し転貸することで、人口増もって 地域活性化を図ることができました。	課 題	令和7年度以降、住宅所有者であるオーナーとの賃貸 借契約が順次満了を迎えることから、今後、事業の見直 し及び代替事業の研究が必要です。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	<b>【理由】</b> 村営住宅として借り受け、村へ の移住・定住を希望する方に対し 転貸することで、村内への移住・ 定住施策の安定、もって人口増、 地域活性化を図ることが見込まれ るため継続します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、 統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	304 住宅取得支援事業			担当部署	まちづくり課
事業概要	移住・定住促進及び地域経済の活性化を図ることを目的に、新築及び中古住宅を建築・取得した方への助成のほか、住宅の新築・増改築・購入のために金融機関から融資を受けた方へ利子補給金を交付します。			区 分	継続
				令和4年度	5,607 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績							
事業費	予算現額	2,907,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	2,556,800 円	村内において新築または中古住宅を取得した方に対し、次のとおり支援を行いました。 ○住宅取得奨励金：4件 1,400,000円 ○勤労者等住宅資金利子補給金：20件 1,149,800円				
事業成果		村への移住・定住を決めた方に対し支援を行ったことで人口増もって地域活性化を図ることができました。		課 題	村への移住・定住を希望する方に対し、更なる制度の認知度を上げるとともに人口増を図るべく情報発信が必要です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 魅力ある制度として情報を提供することで、村へ移住・定住を希望する方に対し、興味をもっていたが、将来の人口増もって地域活性化に資するため継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	305 空き家活用型住宅管理事業			担当部署	まちづくり課
事業概要	個人が所有し、居住していない住宅を村営住宅として借り受け、 転貸することで、村内の地域活性化や移住・定住促進を図ります。			区 分	継続
				令和4年度	778 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	775,000 円	主な実績内容			
	決算額	724,723 円	個人が所有し、居住していない村内の住宅を村が村営住宅として借上げ、村内に居住を希望する方に転貸し、適正な管理運営を行いました。 戸数：1戸			
事業成果		個人が所有し、居住していない住宅（いわゆる空家）を村が村営住宅として借上げ、村内に移住・定住を希望する方に転貸しました。		課題	令和4年度で住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が満了を迎えたことから、当該事業を終了します。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 令和4年度で住宅所有者であるオーナーとの賃貸借契約が満了を迎えたことから、当該事業を終了します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50		拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27	C	見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止	○	

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		○
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		○
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		○
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		○
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	306 空き家対策事業		担当部署	まちづくり課
事業概要	人口減少・少子高齢化に伴い、適正に管理されない空き家等が周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから、空き家を賃貸用住宅としてリフォームする所有者または入居者に対し、リフォーム費用、家財道具処分費の補助を行うことで、移住・定住促進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	512 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	294,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	293,821 円	村内の空き家の情報収集をはじめ、所有者や入居者に対し、空き家への支援制度等の情報提供を行い、空き家の有効活用を促し、村内への移住・定住の推進に努めました。 ○空き家賃貸用住宅リフォーム補助金 1件 287,000円			
事業成果		空き家所有者や入居者に対し、情報提供しましたが、事業利用者は1名でした。	課 題	空き家の所有者や入居者に対し、当該事業を活用いただけるよう更なる広報周知を図り、空き家の有効活用もって人口増につなげる必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 空き家の有効活用により人口増につなげる必要があるため、継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

### 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	307 水源環境保全再生事業		担当部署	産業観光課
事業概要	県民税の超過課税である水源環境保全税を財源として、水源環境保全・再生第4期実行5か年計画に基づき、地域水源林エリア内の私有林及び水源の森林エリア内の村有林整備を行い、良質な水の安定的確保及び生物多様性の保全を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	78,759 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績					
事業費	予算現額	72,186,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	72,149,923 円	○地域水源林整備業務委託：18,056,500円、森林整備（字原）9.72ha、調査業務（字八幡外）23.81ha ○私有林の整備業務委託：21,868,000円、森林整備（字大久保沢外）8.13ha、調査業務（字大久保沢）17.38ha		
事業成果		森林の持つ公益的機能の向上及び良好な自然環境の保全を図ることができました。	課 題	かながわ水源環境保全・再生施策大綱は令和8年度をもって計画期間を満了しますが、森林の維持管理については引き続き整備を継続する必要があります。	
評 価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 水源地域として、水源涵養など森林が持つ公益的機能の向上は必要であり、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		



# 第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	308 鳥獣被害対策事業			担当部署	産業観光課
事業概要	県猟友会清川支部と連携し、鹿や猪等の有害鳥獣に対して銃器、 箱わな、くくりわな及び囲いわなを使用した捕獲及び追い払いを実施するほか、農地耕作者が鳥獣被害対策として設置する電気柵等の 資材購入費支援を行い、農作物被害や生活被害の防止を図ります。			区 分	継続
				令和4年度	5,618 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	4,739,000 円	主な実績内容			
	決算額	3,848,786 円	○鳥獣被害対策事業交付金：捕獲頭数（シカ106頭、イノシ41頭、サル4頭、小動物7頭）、3,035,988円			
			野生動物被害柵等設置補助金：1件（電気柵）、73,400円			
			○ニホンザル追い払い報償：追払い66日、巡視90日、477,000円			
事業成果		有害鳥獣の捕獲及び電気柵等設置補助により、農作物被害及び生活被害の軽減に寄与することができました。		課題	有害鳥獣捕獲従事者の高齢化が進んでおり、担い手の確保策の検討が必要です。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】野生鳥獣による農作物被害及び生活被害を抑止するため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	
					廃止	




第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

( 令和 4 年度 )

事業実績									
事業費	予算現額	3,024,000 円		主な実績内容					
	決算額	2,886,895 円		○獣害防止柵巡視・補修作業員報償：巡視5日、補修12日、補修箇所161箇所 ○獣害防止柵新設工事：御所垣戸L=171m					
事業成果		広域獣害防止柵の巡視、修繕及び新設することにより、野生鳥獣の人里への侵入を防ぎ、農作物被害及び生活被害の軽減に寄与することができました			課題		後期獣害防止柵巡視・修繕作業員が高齢化しており、事業者への委託など検討が必要です。また、既存広域獣害防止柵が老朽化しており、計画的な更新が必要となります。		
評価						今後の方向性・方針			
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業					拡大		【理由】 獣害防止柵の機能を十分に発揮	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業					継続	○	するため、柵の維持管理を行う必要	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業					見直し		があることから、継続して事業	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業					統合		を実施します。	
					廃止				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	310 狛区運営事業			担当部署	産業観光課
事業概要	村が抱える自然環境を健全な生態系として維持するとともに、野生鳥獣による農作物被害及び生活被害を防止するため狛区を開設し、適正な管理運営を図ります。			区 分	継続
				令和4年度	1,486 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	1,486,000 円	主な実績内容				
	決算額	1,484,123 円	○猟区管理運営業務委託料：1,200,000円 ○猟区入猟取扱事務委託料：2箇所、150,000円 ○開猟日：22日間、入猟者：313人、狩猟実績：シカ62頭				
事業成果		事故や狩猟違反もなく猟区を運営することができ、狩猟者が鳥獣を捕獲することで、農作物等被害軽減に寄与することができました。また、運営経費についても入猟承認料で全て賄うことができました。		課題	狩猟免許取得者が減少しており、入猟者の確保策について検討が必要です。また、猟区管理運営を委託している清川村鳥獣保護協会会員の高齢化が進行しており、対策の検討が必要です。		
評価				A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 野生鳥獣による農作物被害等軽減及び生活環境の維持のため、継続して事業を実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	311 ヤマビル被害防除対策事業		担当部署	産業観光課
事業概要	丹沢山地東部に多く生息し、人に対して吸血被害を及ぼすヤマビル被害防除のため、村民向けに殺ヒル剤及び忌避剤の助成販売を行います。また、住宅地への繁殖被害防止のため登山道出入口への殺ヒル剤及び忌避剤の設置を行うほか、草刈り機、殺ヒル剤及び散布機の無償貸与を行い、ヤマビル被害防除対策を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	428 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	416,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	402,556 円	○ヤマビル忌避剤等購入：殺ヒル剤（180ml）120本、忌避剤（135ml）210本、忌避剤（500ml）20本、殺ヒル剤（1ℓ）4本 ○ヤマビル忌避剤等販売：殺ヒル剤（180ml）136本、忌避剤（135ml）202本			
事業成果		村民へのヤマビル忌避剤、殺ヒル剤の販売及び登山道入口へのヤマビル忌避剤設置により、ヤマビル被害防除に寄与することができました。	課 題	登山道入口に忌避剤を設置することで、来訪者のヤマビル防除対策に寄与していますが、盗難が多く、対策の検討が必要です。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 ヤマビルによる生活被害は続いているため継続します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		


評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	312 簡易水道事業特別会計		担当部署	まちづくり課
事業概要	安全で安定した水道水の供給を行うため、水道施設や設備の適正な維持管理を行うとともに、経年劣化により老朽化が進んでいる施設・設備の更新事業を行い、施設の安定稼働及び適正な運転管理を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	151,564 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績					
事業費	予算現額	138,340,000 円	主な実績内容		
	決算額	91,647,625 円	配水管布設工事：ポリエチレン管布設 Φ75 L=104.50m、給水管付替 1箇所 配水管更新工事：ポリエチレン管布設 Φ75 L=9.00m、Φ100 L=292.09m、給水管付替 33箇所		
事業成果		取水・導水・浄水・配水施設及び設備を円滑かつ適正に管理し、安全でおいしい水道水の安定供給ができました。	課題	人口減少等に伴う給水需要の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大等、経営環境が厳しさを増す中にあって、これまで以上に経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが必要です。	
評価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 水道は、村民生活に欠かせない重要なインフラであり、必要不可欠なものです。今後は地方公営企業法の適用による公営企業会計を導入し、経営状況を比較可能な形で把握したうえで、中長期的な経営の姿を的確に見通していくことも必要です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	
				廃止	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	313 簡易水道事業特別会計繰出金		担当部署	まちづくり課
事業概要	簡易水道事業特別会計の適正な運営を図るため、職員人件費相当分に対して一般会計からの繰り出しを行います。		区 分	新規
			令和4年度	19,429 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	30,421,000 円	主な実績内容			
	決算額	30,074,853 円	簡易水道事業特別会計への繰出			
事業成果		一般会計から簡易水道事業特別会計への繰出しを行うことで、簡易水道事業特別会計の適正な運営を行うことができました。		課題	公営企業は、料金収入をもって経営を行う独立採算制が基本原則とされているため、適正な受益者負担を求めていく必要があります。	
評価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 令和6年度から3か年で段階的に水道料金を改定しますが、長期的に安定した事業運営を持続するために、より一層の経営の効率化・健全化を目指します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標							
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)		新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数		
		30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)		
位置付け		施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進				
		基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり				
		基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持				
計画事業 (予算事業)		314 下水道事業特別会計			担当部署	まちづくり課	
事業概要		下水道施設の円滑かつ適正な維持管理を行い、快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全に努めるとともに、主要設備等の老朽化に伴う故障や不具合が増加傾向にあることから、施設・設備の長寿命化事業を行い、施設の安定稼働及び適正な運転管理を図ります。			事業費	区 分	継続
						令和4年度	371,725 千円
						令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	407,365,000 円	主な実績内容			
	決算額	352,010,268 円	下水道施設長寿命化事業 ・下水道ストックマネジメント事業実施設計業務委託 ・清川浄化センター汚水着水槽改築工事（繰越明許） ・幹線No.4マンホールポンプ場更新工事（繰越明許） ・清川庄送センター自家発電設備更新工事（R 4～5 継続事業）			
事業成果		下水道施設・設備の長寿命化事業を行い、施設の安定稼働及び適正な運転管理を図ることで、快適な住環境の確保と公共用水域の水質保全に努めることができました。	課題	人口減少等に伴う使用量収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増大等、経営環境が厳しさを増す中において、これまで以上に経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが必要です。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 下水道は、村民生活に欠かせない重要なインフラであり、必要不可欠なものです。今後は地方公営企業法の適用による公営企業会計を導入し、経営状況を比較可能な形で把握したうえで、中長期的な経営の姿を的確に見通していくことも必要です。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		○
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	315 下水道事業特別会計繰出金			担当部署	まちづくり課
事業概要	下水道事業特別会計の適正な運営を図るため、一般会計からの繰り出しを行います。			区 分	継続
				令和4年度	192,910 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	205,384,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	200,040,376 円	下水道事業特別会計への繰出			
事業成果		一般会計から下水道事業特別会計への繰出しを行うことで、下水道事業特別会計の適正な運営を行うことができました。		課 題	下水道事業特別会計への繰出金は、年々増加傾向にあるため、適正な受益者負担を求めていくことが必要です。	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大			<b>【理由】</b> 持続可能な下水道事業の運営を行うためには、一般会計からの繰出金が必要不可欠ですが、村の財政を圧迫していることから、受益者負担の適正化を図っていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合			
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C 改善の余地あり	○
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	316 生活交通確保対策事業			担当部署	政策推進課
事業概要	住民の日常生活における交通の利便性を確保するため、早朝及び深夜帯のバス運行にかかる費用のほか、公共交通空白区間となっている金翅・清水ヶ丘地区の交通の利便性を向上させるため、コミュニティ交通の運行費を補助します。			区 分	継続
				令和4年度	7,512 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績							
事業費	予算現額	7,064,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	6,901,001 円	(1) 早朝・深夜路線バス運行事業補助金 6,680,489円 (2) 金翅・清水ヶ丘地区コミュニティ交通運行事業 184,332円				
事業成果		早朝・深夜バスの運行経費及びコミュニティ交通の運行経費を補助することにより、住民の生活交通の利便性向上を図りました。		課 題	高齢化及び担い手不足に伴い、金翅・清水ヶ丘地区コミュニティ交通が令和4年度をもって事業を終了したため、交通空白区間の解消に向けた検討が必要です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 生活交通の確保対策は、住民からのニーズが高く、早朝・深夜にバスを運行することで通勤・通学者等の利便性の向上が図られることから、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	317 地震等防災対策事業		担当部署	総務課
事業概要	自主防災隊の組織力のより一層の強化と自主防災隊を構成する村民各自の災害に対する更なる意識の高揚を図り、災害に強い村づくりを推進するため、村民が主体となった防災訓練を実施します。 また、各種災害用備蓄品等を購入するほか、災害時協力井戸制度を開始し、地震・風水害等の災害に備えます。		区 分	継続
			令和4年度	2,450 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績					
事業費	予算現額	2,431,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	2,049,330 円	コロナ禍のため、住民の村内各地区での防災訓練は行わず、各家庭の災害対応の確認や かながわシェイクアウトを行い、住民の防災意識の向上を図りました。また、職員による 避難所開設訓練を実施しました。		
事業成果		災害対応の確認やかながわシェイクアウトを実施し、防災体制の強化を図るとともに、村民の防災意識の向上と有事の際の対応強化を図ることができました。	課 題	住民各自が地震等の災害時における避難行動を速やかに実施できるよう訓練や更なる普及啓発を進める必要があります。	
評 価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 各種訓練等の実施により、村民及び各自主防災隊との連携を図り、災害等における自助、共助の重要性を再認識するとともに、防災体制の強化や防災意識の向上のため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	318 財産管理事業		担当部署	総務課
事業概要	公的サービスの提供や防災・災害時支援の拠点となる庁舎や庁用車等の適正な管理・運用を図り、公的サービスの安定した提供と村民の利便性向上を目指します。		区 分	拡充
			令和4年度	101,094 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	73,415,965 円	主な実績内容			
	決 算 額	71,097,511 円	役場庁舎・書庫及び庁用車両を適正に管理・運用したほか、庁舎屋上及び西側の防水工事を実施しました。 (1)庁舎防水工事、(2)庁舎消防設備等改修工事、(3)庁舎空調機改修工事			
事業成果		役場庁舎等及び庁用車両を適正に管理し、公的サービスの安定供給及び村民等の利便性の向上に適した環境を維持することができました。	課 題	施設の老朽化に伴い、修繕を要する箇所が増えてきているため、計画的・平準的な更新が必要です。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 役場庁舎等及び庁用車両は、行政運営に欠かせない施設であるため、計画的な更新を図り、行政機能の維持・向上に努めてまいります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数		移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸		200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進			
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり			
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持			
計画事業 (予算事業)	319 普通財産維持管理事業			担当部署	政策推進課
事業概要	普通財産として所有する土地・建物等の維持管理を行うほか、土砂災害特別警戒区域に指定された清水ヶ丘(1区)にある村有地のポーリング調査等を実施し、法面安全対策の検討に着手します。			区 分	拡充
				令和4年度	17,049 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	14,762,035 円	主な実績内容			
	決算額	14,600,105 円	村有地の管理のほか、清水ヶ丘村有地法面の安全対策を検討を実施しました。 (1) 清水ヶ丘村有地管理 (2) 南山村有地管理 (3) 清水ヶ丘村有地法面対策予備設計業務			
事業成果	環境美化を含めた村有地の適正な管理に努め、清水ヶ丘村有地法面の安全対策を検討するための基礎資料ついて、地質構成等のデータ収集と、データに基づく法面工検討資料等を作成しました。		課題	清水ヶ丘村有地法面の安全対策の検討には、複数の対策案を近隣住民に丁寧に説明し、景観を配慮した対策などを検討し、近隣地権者との境界画定を実施するうえで詳細な測量が必要になります。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 引き続き、村有地の適正な管理に努め、景観や近隣住民の安全対策を進めてまいります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		○
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	320 防災施設・設備維持管理事業		担当部署	総務課
事業概要	防災体制に万全を期するため、災害時における情報伝達体制を確保するとともに、防災行政無線を中心とした防災施設の維持管理と、登録制メールやホームページ等を活用した情報配信体制の拡充を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	5,354 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	5,354,000 円	主な実績内容			
	決算額	5,064,786 円	防災施設・設備の保守業務を実施し、機能維持を図りました。 (1)防災行政無線、総合気象観測装置及び全国瞬時警戒システムの保守点検業務。 (2)防災倉庫機械警備業務及び防災倉庫周辺草刈り業務など。			
事業成果	防災施設・設備の保守業務を実施し、有事の際に活用できるよう機能維持を図りました。		課題	防災行政無線の更新や難聴地域の解消に向けた検討を行う必要があります。		
評価			<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 防災行政無線の更新に向け、新たな情報発信方法の導入など検討し、難聴地域の解消や情報伝達手段の多様化等に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	3 居住環境整備プロジェクト
----------	----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	新規の賃貸住宅 (空き家含む)・ 分譲地供給数	移住・定住促進施策 による新規転入者数	防災訓練参加者率	野生鳥獣被害防止柵等設置 事業補助金利用件数
	30戸	200人	25% (2017年 21%)	30件 (2017年 6件)
位置付け	施策の 大綱	1 自然と調和した住みよい村づくりの推進		
	基本目標	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり		
	基本施策	1 土地の有効利用と地域機能の維持		
計画事業 (予算事業)	321 臨時ヘリポート管理事業		担当部署	総務課
事業概要	災害時及びドクターヘリの対応における臨時ヘリポート施設の維持管理を行うとともに、消防団等における消防訓練及び操法訓練の訓練場として活用し、地域防災力の向上を目指します。		区 分	拡充
			令和4年度	3,616 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	616,000 円	主な実績内容				
	決算額	428,182 円	臨時ヘリポート施設の維持管理を実施し、機能維持を図りました。 (1)臨時ヘリポート周辺草刈業務				
事業成果		ドクターヘリなどによる救急・救助出動時や災害等の救護活動において活用するため、施設の維持管理を実施し、機能維持を図ることができた。		課題	施設の維持管理のため、草刈り業務の代わりに、施設維持のための法面等への防草シートを敷くなどの施設管理を検討する必要があります。		
評価				<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大		<b>【理由】</b> 施設の必要性において、の現状を維持するため、老朽化した箇所の修繕等を行うとともに、機能維持に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)

目 標 達 成 度				
年度/区分	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
令和元年度 (2019年)	1.51%	0人	1件	幼9・小18・中17回/年
令和2年度 (2020年)	1.19%	2人	0件	幼4・小3・中26回/年
令和3年度 (2021年)	1.22%	0人	3件	幼3・小4・中23回/年
令和4年度 (2022年)	1.21%	0人	3件	幼8・小15・中16/年
令和5年度 (2023年)	—	—	—	—
計	1.28%	0人	7件	幼8・小15・中16/年

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
401	小児医療費助成事業	A	拡大 概ね適切であり、拡大して実施します
402	放課後児童クラブ運営事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
403	子育て支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
404	放課後子ども教室事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
405	保育所入所事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
406	幼稚園管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
407	確かな学力の育成推進事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
408	教育指導・相談事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
409	幼小中一貫校設置推進事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
410	中学校管理事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します

事業実績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
411 給食センター管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
412 小学校管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
413 ICT教育推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
414 中学校教育振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
415 小学校教育振興事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
416 せせらぎ館管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
417 図書館管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
418 運動公園管理運営事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
419 清川やまびこマラソン大会	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
420 夏季プール一般開放事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
421 文化振興事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
422 生涯スポーツ推進事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
423 生涯学習推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
424 文化伝承・文化財保護推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
425 青龍祭	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します

目標達成への課題	
合計特殊出生率	県内では12位の水準にありますが、目標値には達していないため、産前・産後における支援の一層強化が求められます。
保育所待機児童数	働き方や家庭環境の変化に伴う保育ニーズへの対応が必要です。
新規生涯学習イベント数	今年度、新たなイベントを3件開催し、目標を達成しましたが、引き続き魅力ある企画や講師の確保に努めます。
幼・小・中の連携事業数	感染症対策の緩和により、園児・児童・生徒間の交流が図られたことで、各校種とも目標を達成することができました。

目標指針の今後の方向性・方針	
合計特殊出生率	産前・産後における支援に加え、保育、教育環境を一層充実させることで子育てに係る保護者負担の軽減と切れ目のない支援体制を構築し、出生率の改善を目指します。
保育所待機児童数	待機児童0を継続するため、現行の対策を継続するとともに、子どもたちの健全な育成を図ります。
新規生涯学習イベント数	より効果的なイベントとするため、今後、3年を目途にアンケート等による見直しを行い、募集定員の確保と参加者の満足度の両面から事業の実手法について検討します。
幼・小・中の連携事業数	幼・小・中一貫校開設に向け、さらなる連携を進め、魅力ある清川らしい教育を目指します。
【備考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	401 小児医療費助成事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	子育て世帯の生活支援として、小児にかかる医療費の一部を助成することにより、家庭の経済的な負担軽減と子どもの健やかな育成を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	8,499 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	10,426,000 円	主な実績内容			
	決算額	9,692,403 円	○小児医療費助成事業 ・対象者（年度末現在）0歳児から満18歳を迎えた3月31日までの児童・生徒 315人			
事業成果		保険適用分の自己負担額を助成し、小児の健全育成が図られました。		課題	自治体独自の事業であるため、県外での受診時等において一時的に自己負担していただき償還払いするなど、経済的・事務的に利用者に負担が生じます。	
評価				<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大		○	<b>【理由】</b> 子育ての経済的負担軽減対策を強化するため、16歳から18歳までの通院に係る医療費の自己負担分についても対象として拡大し支援します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続			
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大	○	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続		
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	402 放課後児童クラブ運営事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	放課後に一人で過ごすこととなる共働きの家庭や母子・父子家庭の児童に対して、適切な遊び場と生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とした「ひまわり放課後児童クラブ」を運営します。 また、宮ヶ瀬地区から同クラブまでの通所に係る交通費の一部を補助します。		区 分	継続
			令和4年度	7,844 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	7,579,637 円	主な実績内容			
	決 算 額	7,316,182 円	○会計年度任用職員（支援員・指導員）報酬等 7,038,143円 ・入所児童 26人			
事業成果		放課後の家庭等において、保育を受けられない児童に対し、適切な遊び場と生活の場を提供することで、児童の健全な育成が図られました。	課 題	感染対策等を考慮した場合の児童の活動スペースの確保などが課題となっています。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大		【理由】 利用者数に応じ、現状の体制を維持する必要があるため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	○
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	403 子育て支援事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	児童の養育者に対し、子育て用品の購入費の一部を助成するほか、1～2歳児の養育者を対象として、あおぞら保育園が実施する一時預かり保育の利用支援、副食費の補助を行うことで、子育てに忙しい養育者の育児疲れの解消と家庭における生活の安定、負担の軽減を図ります。		事業費	区 分
				令和4年度
				令和5年度
				継続
				3,288 千円
				予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	2,601,000 円	主な実績内容			
	決算額	2,454,140 円	○子育て用品購入費助成金（4,500円／月）：対象者38人 1,426,500円 ○子育て世帯リフレッシュ事業業務委託料：対象者13人 3,800円 ○保育所等副食費緊急支援補助金（4,500円／月）：対象者19人 958,500円			
事業成果		子育て支援用品を対象としたクーポン券を配布するとともに、あおぞら保育園の一時預かり事業を利用した子育て世帯リフレッシュ事業を実施するなど、家庭における生活の安定と経済的負担の軽減が図られました。	課題	子育てリフレッシュ事業の利用が少ないため、ニーズの把握と利用率の向上を図ることが課題となっています。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 子育てリフレッシュ事業については、利用者の減少が続いているため、施設側、利用者側にそれぞれ課題があることから見直しを行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	404 放課後子ども教室事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりと学習の場を提供するため、主に生涯学習センター「せせらぎ館」を使用し、豊富な社会人経験を持つ人材を活用して、学習やスポーツ、体験を通じた教室を開催します。		事業費	区 分
				令和4年度
				令和5年度
				継続
				1,236 千円
				予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	725,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	672,298 円	実施日：令和4年4月15日～令和5年3月17日 毎週水・木・金（原則）15時～17時				
			協力者：協働活動支援員（1名）、協働活動サポーター（12名） 内容：学習・スポーツ・体験活動 登録人数：80名（低学年49名、高学年31名）、実施回数：78回 811人				
事業成果		子どもたちの放課後の居場所づくりとして、小学生を対象に学習やスポーツ、体験活動等を通して、異年齢との交流を促進するとともに、青少年の健全育成を図ることができました。		課 題	協働活動支援員及び協働活動サポーターの確保が課題となっています。		
評 価						今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大			【理由】 共働き世帯が増加する中、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を提供するために必要であることから継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合			
				廃 止			
A							

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり			
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備			
計画事業 (予算事業)	405 保育所入所事業			担当部署	保健福祉課
事業概要	保育が必要な家庭と認められる保護者等が、働きながら子育てしやすい環境を整えるほか、教育・保育無償化に伴う幼稚園の預かり保育や認可外保育所にかかる子育てのための施設等利用給付費を支給します。			区 分	拡充
				令和4年度	99,352 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績							
事業費	予算現額	93,608,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	92,508,588 円	○保育所入所委託料：対象者32人 61,107,040円 ○施設型給付費負担金：対象者 8 人 5,071,770円 ○地域型保育給付費負担金：対象者 6 人 13,345,140円				
事業成果		保育を実施するとともに、幼稚園の預かり保育事業や認可外保育施設等に係る子育てのための施設給付費を支給しました。入所児童の処遇の向上を図るため、施設運営費の助成を行いました。		課 題	年度途中の利用希望に対する調整が困難となっているほか、少人数により入所者の年齢に偏りが生じることがあります。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 人口減少・少子化の抑制、移住・定住促進には子育て環境の充実が不可欠であり、子どもたちの健全な育成を図るため、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	406 幼稚園管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	幼稚園児の教育に適した環境を整えるための施設の維持管理や教職員の資質向上のための研究会、研修会等を実施します。 また、就労やりフレッシュ、家族の看護等を必要とする園児の保護者を対象に預かり保育を実施します。		事業費	区 分 継続
				令和4年度 50,174 千円
				令和5年度 予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	48,874,000 円	主な実績内容			
	決算額	48,038,691 円	園児数：27名（3歳児11名、4歳児6名、5歳児10名） ○幼稚園型一時預かり保育実施日数：209日（利用園児数：延べ1,008名） ○木製遊具修繕の実施 ○感染症対策のための物品の購入（非接触型検温器2台）			
事業成果		幼稚園の運営及び施設の適正な維持管理を図ったほか、感染症対策物品を購入し、安全・安心な教育環境を整備することができました。		課題	施設の老朽化により、修繕箇所が増加しています。令和11年度に開校予定の「幼・小・中一貫校」に向け現在の施設での園児の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 人口減少・少子化の抑制、移住
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○ 促進、保護者の就労環境の変化には安心して子育てができる環境の
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し	充実が必要です。未来を担う子どもたちの重要な幼児期の教育環境
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合	を整え、実施する必要があるため、継続して事業を
				廃止	行います。	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	407 確かな学力の育成推進事業		担当部署	学校教育課
事業概要	人と人とのつながりや基礎的な知識や技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力、その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養います。また、「ICT教育推進事業」と連携し、児童・生徒の学習への興味や関心を高め、個々の能力を伸ばし、分かりやすい授業や児童・生徒の主体的及び協働的な学びを実施します。		区 分	新規
			令和4年度	29,230 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	17,708,000 円	主な実績内容			
	決算額	16,842,652 円	○学習指導員の派遣（村費）：緑小2人、宮小4人、緑中2人、宮中2人 ○きよかわ学びづくり推進事業における各校内研究会の実施：18回 ○学校司書の派遣（村費）：1名週5日勤務（令和3年度までは週3日） ○基礎基本確認テストの実施：1月（小4～6及び中1・2） ○英語活動推進事業の実施：外国人指導助手（ALT）の派遣 幼・小・中 233時間			
事業成果		本事業を実施したことにより、人と人とのつながりや基礎的な知識や技能を確実に習得することで思考力、判断力、表現力等を育み主体的に学習に取り組む態度を養いました。また、学校司書の配置日数を増加したことで読書活動を通じた読解力の向上につなげ、図書室を活用した学習活動の充実を図ることができました。		課題	学校の円滑な運営を図り、様々な学習活動を運営すること、また、各学校において特に力を入れる教科活動を積極的に進めて行くためには、学習指導員の人材確保を継続する必要があります。	
評価				<div>A</div> <div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 個々に応じた学習の展開、小学校及び中学校の学級における教科学習、児童・生徒の生活支援等への適切な人材の確保、また学力向上のために必要な環境を適切に整える必要があるため、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり			
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備			
計画事業 (予算事業)	408 教育指導・相談事業			担当部署	学校教育課
事業概要	訪問教育相談員により保護者からの来所や電話での相談、また、 学校訪問を行い在籍児童・生徒の授業及び生活態度等を確認しながら、 各学校のコーディネーターを中心に個々の対応について検討します。 また、特別支援巡回相談では、各学校、幼稚園に学期毎臨床 心理士の巡回を行い、学校の支援体制や方法を必要に応じて専門的 な助言をします。			区 分	継続
				令和4年度	5,071 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績				
事業 費	予算現額	4,947,000 円	主な実績内容	
	決算額	4,831,316 円	○指導主事及び訪問教育相談員：相談件数/来所31回・学校訪問62回 ○特別支援巡回相談員：幼稚園・小学校・中学校巡回 ○スクールカウンセラー（臨床心理士）派遣（県予算） 緑中学校・緑小学校40日280時間、宮ヶ瀬中学校・宮ヶ瀬小学校42日280時間	
事業成果		学校教育の推進を図るため、専門的事項の指導助言を行うとともに、保護者からの相談への対応や必要に応じて学校訪問を行い、個々の対応について助言を行いました。また、児童・生徒が相談ができる体制の充実を図りました。	課 題	特別な支援が必要な児童・生徒が園・各学校ともに増加傾向にあるため、個々のケースに応じた支援体制を強化する必要があります。また、園・各学校及び関係機関との連携強化を図る必要があります。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大	【理由】 特別な支援が必要な児童・生徒が増加傾向にあり、様々なケースに対応する支援体制の整備が必要です。また、各学校の支援担当のコーディネーターの支援も必要ことから、事業を継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合	
			廃 止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	409 幼小中一貫校設置推進事業		担当部署	学校教育課
事業概要	令和2年度に決定した「清川にひとつの 清川らしい幼・小・中 が、一体となった新しい一貫校をつくりあげる」という方針に基づ き、「清川村幼・小・中学校施設整備検討委員会」及び「幼・小・ 中施設整備検討委員会教育推進部会」を開催し、「幼・小・中一貫 校施設整備基本構想」の策定をはじめとする一貫校整備の具体的 な検討に着手します。		区 分	継続
			令和4年度	385 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	100,000 円	主な実績内容			
	決算額	85,000 円	○幼小中一貫校施設整備検討委員会の開催：2回 検討委員会は、学校関係者、地域関係者、保育園、幼稚園、小・中学校の保護者及び公募委員で構成 ○幼小中学校施設整備検討委員会教育推進部会の開催 教育推進部会は、保育園・幼稚園・小・中学校の教員で構成			
事業成果		清川村幼小中一貫校施設整備検討委員会及び幼小中学校施設整備検討委員会教育推進部会を開催しました。		課題 幼小中一貫校施設整備基本構想の策定、開校までのスケジュール等の提示等、積極的に事業を進める必要があります。また、委員等を対象とした先進地への視察を実施する必要があります。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 未来を担う子どもたちの重要な教育環境を整えるため、清川らしい幼・小・中が一体となった新しい一貫校の建設に向け、継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	410 中学校管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	在籍する生徒に適した環境を整えるために施設の維持管理を行うほか、緑中学校の窓飛散防止対策を行い、安全面の強化を図ります。また、研究会や研修会等を実施することで教職員の資質向上を図ります。		区 分	拡充
			令和4年度	29,236 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	29,570,000 円	主な実績内容			
	決算額	28,989,870 円	生徒数：緑中学校68名、宮ヶ瀬中学校 6 名			
			○緑中窓飛散防止対策工事 ○緑中屋内消火栓設備ポンプ等交換工事 ○修学旅行費補助金：25名（375,000円）			
事業成果		施設の維持管理及び必要な工事を実施することにより生徒が安心・安全な環境で学校生活を過ごす環境を整えることができました。また、原油価格や物価高騰等に対する子育て世代への支援を行うことができました。	課題	施設の老朽化とともに、工事や修繕の箇所が増加しています。生徒の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。		
評価			<div>A</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 生徒の教育に適した安心・安全な環境を整備・維持するため。継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	411 給食センター管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	給食は、学校教育活動の一環として実施されるもので、園児・児童・生徒が身体的・精神的にも大きく成長する時期に栄養バランスの取れた給食を取ることを通じて、食教育の充実を図ります。また、施設の衛生的な環境を維持するための清掃や各種検査を実施し、安全でおいしい給食の提供を行います。		区 分	継続
			令和4年度	23,651 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	23,978,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	23,569,292 円	○職員数：栄養技師（県費）1名、調理員5名、事務員1名 ○給食数：51,122食 1日あたり274食 ○調理室照明器具修繕：受水槽修繕			
事業成果		園児・児童・生徒に美味しく栄養バランスの取れた食材を提供し、食教育の充実を図るとともに、季節に応じて村内で採れる野菜等を生産者より購入し使用しました。また、施設の衛生的な環境を維持しました。	課 題	様々な要因による食材費の急激な高騰への対応、給食の品質の維持、また施設の老朽化への対応などが課題となっています。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 給食は学校教育活動の一環として実施されるもので、園児・児童・生徒が身体的にも精神的にも大きく成長する時期に大切な役割を担っているため、継続して事業を行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	412 小学校管理事業		担当部署	学校教育課
事業概要	在籍する児童の教育に適した環境を整えるため、施設の維持管理を行うほか、緑小学校の窓飛散防止対策を実施し、安全面の強化を図ります。また、研究会や研修会等を実施することで教職員の資質向上を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	23,058 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	24,101,000 円	主な実績内容			
	決算額	23,213,099 円	児童数：緑小学校109名、宮ヶ瀬小学校 5 名 ○緑小窓飛散防止対策工事 ○緑小東棟階段室屋上防水改修工事 ○修学旅行費補助金：15名（150,000円）			
事業成果		施設の維持管理及び必要な工事を実施することにより児童が安心・安全な環境で学校生活を過ごす環境を整えることができました。また、原油価格や物価高騰等に対する子育て世代への支援を行うことができました。		課題	施設の老朽化とともに、工事や修繕の箇所が増加しています。児童の安心・安全な環境を維持するため、適切な施設の維持管理が必要です。	
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大			【理由】 児童の教育に適した安心・安全な環境を整備・維持するため。継続して事業を行います。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合			
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	413 ICT教育推進事業		担当部署	学校教育課
事業概要	すべての教科において、タブレット端末が学習道具のひとつとなることを目指し、他の学校等と連携し、協働的な学びを活発化します。また、児童・生徒専用の複写機や学校施設における無線LAN環境の整備等デジタル教科書の本格導入に向けた必要な環境を整備します。		区 分	拡充
			令和4年度	21,189 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績					
事業費	予算現額	20,711,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	20,586,877 円	○タブレット端末導入台数 258台 ○Wi-Fiルーター導入台数 20台 ○学校施設無線LAN環境整備工事 ○児童・生徒専用プリンターの設置		
事業成果		児童生徒及び教員へ導入している1人1台端末に係る経費及び家庭学習が必要な経費等を支出しました。また、今後も拡大していく学習活動のデジタル化に向け、職員室及び普通教室に無線LAN環境を整備しました。	課 題	1人1台端末の更新期限に向け、財源の確保が必要です。また、積極的に端末を使用した学習活動ができる環境を継続して整える必要があります。	
評 価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 今後もタブレット端末が全ての
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○ 学習活動において重要な役割を担っていくため、活動を止めることのないよう環境を維持していくとともに、対話的な学びや協働的な学びの活性化を図り学力の向上につなげていく必要があります。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
			廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	414 中学校教育振興事業		担当部署	学校教育課
事業概要	学習や教育に必要な教材備品の購入を行います。 また、学校の管理下における生徒の災害（負傷、疾病等）に対して災害共済給付を行うほか、経済的理由により就学困難な生徒に対する就学援助を行います。		区 分	継続
			令和4年度	1,635 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	1,784,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,620,657 円	生徒数：緑中学校68名、宮ヶ瀬中学校6名 ○教材備品及び図書備品の整備 ○就学援助費の支給 対象者 5 名 ○学校管理下における生徒の災害（負傷、疾病等）に対する災害共済給付			
事業成果		経済的理由により、就学困難な生徒に対し就学援助費の支給を行いました。また学習活動に必要な教材備品及び図書備品を購入しました。	課 題	就学援助制度の周知を徹底し、全ての生徒が適切な環境で学習活動を行う必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 経済的理由により、就学困難な生徒に対し、就学援助費の支給を継続する必要があります。また、学校における図書教育の充実のため、より効率的な図書備品の購入が必要です。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	415 小学校教育振興事業		担当部署	学校教育課
事業概要	学習や教育に必要な教材備品の購入を行います。 また、学校の管理下における児童の災害（負傷、疾病等）に対し て災害共済給付を行うほか、経済的理由により就学困難な児童に対 する就学援助を行います。		区 分	継続
			令和4年度	1,450 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	1,118,000 円	主な実績内容				
	決算額	1,115,574 円	児童数：緑小学校109名 宮ヶ瀬小学校 5名 ○教材備品及び図書備品の整備 ○就学援助費の支給 対象者14名 ○学校管理下における生徒の災害（負傷、疾病等）に対する災害共済給付				
事業成果		経済的理由により、就学困難な児童に対し就学援助費の支給を行いました。また学習活動に必要な教材備品及び図書備品を購入しました。		課題	就学援助制度の周知を徹底し、全ての児童が適切な環境で学習活動を行う必要があります。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 経済的理由により、就学困難な児童に対し、就学援助費の支給を継続する必要があります。また、学校における図書教育の充実のため、より効率的な図書備品の購入が必要です。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	416 セセラギ館管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点施設として、利用促進と施設・設備等の適正な維持管理を行い、サービスの向上と施設の防犯・防災対策に努めます。		区 分	継続
			令和4年度	11,161 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績					
事業費	予算現額	10,887,000 円	主な実績内容		
	決算額	10,721,755 円	開館日数357日、延べ利用者数16,633名 貸室稼働率 ①みどりホール 62%②楽屋 29%③活動室 1 25%④活動室 2 24%⑤活動室 3 7%⑥研修室 24%⑦創作室・和室 24%⑧展示室 45%⑨その他（可動席使用日数）31日		
事業成果		生涯学習の拠点施設としての維持管理及び防災安全対策等に努めました。	課題	経年劣化に伴い、施設設備のうち製造終了となっている交換部品があることから、計画的な更新が必要です。	
評価				今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<div>【理由】</div> 生涯学習活動の拠点施設として、
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	利用促進に努めるとともに、機能の充実や施設・設備等の維持
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	管理に努め、住民サービスの向上を図る必要があるため、継続して
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合	事業を行います。
			廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	417 図書館管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	図書館の適切な管理運営を行うため、図書整理員を配置するほか、村ホームページで新着図書等の紹介を行い、図書及び視聴覚資料の充実と利用促進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	8,601 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	8,308,000 円	主な実績内容			
	決算額	8,224,143 円	利用実績①年間利用者数：6,811名②蔵書数：45,266冊③ビデオ・DVD数：968本④登録団体：26団体⑤村内登録者(在住・在勤)：1,760名⑥村外登録者（広域）：606名⑦図書資料利用冊数：図書13,372冊、ビデオ・DVD855本⑧図書・視聴覚資料購入数：書籍440冊、DVD9本			
事業成果		図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに、村HPで新着図書等の紹介を行い、住民へのサービスの提供を継続できました。	課題	予算や蔵書可能な図書等の数が限られている中で、利用者の多様なニーズに応えるため、増えた蔵書に対する保管や整理等の適切な管理を行う必要があります。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	<b>【理由】</b> 図書館の適切な管理運営を行い、図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに住民に読書をはじめとする情報サービスを提供するため、貴族して事業を実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	418 運動公園管理運営事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	清川村運動公園を安全に、安心して利用できるよう、施設・設備等の維持管理を行います。また、野球場芝生の管理に使用する芝刈機や投手用防球ネットを更新し、利用者へのサービスの向上を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	5,611 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	6,442,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	6,108,869 円	○年間利用数：野球場4,277名（230件）、テニスコート8,251名（1,078件） ○団体登録者数：6団体（野球2団体・ソフトボール1団体・テニス3団体）			
事業成果		清川村運動公園を安心して安全な施設利用ができるよう、施設・設備等の維持管理を行いました。	課 題	施設の老朽化により、計画的な改修工事を実施する必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 村民の健康増進と体力の向上を図るとともに、生涯学習、各種スポーツができる施設として、安心して安全な施設利用ができるよう、施設・設備等の維持管理を継続して行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	419 清川やまびこマラソン大会		担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の体育・スポーツ意識の高揚と健康増進、体力の向上等を図るため、マラソン大会を開催します。 また、元気や賑わいを取り戻すため、ゲストランナーを招致して開催します。		区 分	継続
			令和4年度	2,000 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	0 円	主な実績内容			
	決 算 額	0 円	村民や村外の方を対象に、「清川やまびこマラソン大会」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業を中止しました。			
事業成果		事業を中止したため、成果はありません。		課 題	災害に伴うコースや種目変更への対応が課題です。また、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえでの事業実施方法も課題です。	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大			【理由】 村民の体力向上及び村外の方法の来村のきっかけとなり、村の認知度の向上にも期待できることから継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合			
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	420 夏季プール一般開放事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	学校の夏季休業中に、学校のプールを一般開放することで、健康増進と体力の向上を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,592 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	1,418,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,417,900 円	○開放期間：7月23日～8月20日（19日間） ○利用者数：延べ386名			
事業成果		学校の夏季休業中に学校プールを一般開放し、地域住民が水に親しむとともに、心身・健康の増進を図ることができました。	課 題	施設の老朽化に伴い、近隣市町のプール施設の広域利用の検討が課題です。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 村民の憩いの場、健康の増進の場として必要であるため、継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	421 文化振興事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習センター「せせらぎ館」を拠点とする各種団体の活動を支援するとともに、文化作品展・芸能発表会等のイベントや展示会を開催することで、活動環境の充実と趣味を通じた仲間づくりを促進します。また、元気や賑わいを取り戻すため、音楽鑑賞会を開催します。		区 分	継続
			令和4年度	674 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	39,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	38,989 円	○文化作品等展示会(令和4年4月15日～令和5年3月31日)：来館者/延べ612名 ○文化作品展(11月18日～20日)：来館者/延べ117名、出展者/村団体7団体、村内在住5名 ○芸能発表会(11月20日)：来館者/85名、出演団体/10団体			
事業成果		文化作品等展示会及び清川村文化祭を実施したことで、村民や各種団体の教養・文化の振興、交流が図れました。	課 題	清川村文化協会が休会している中で、清川村文化祭の企画や運営に携わる人材の確保や組織を再構築していく必要があります。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 村民や各種団体の教養・文化の振興、交流を図るために継続して実施する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	422 生涯スポーツ推進事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	スポーツレクリエーションを通じ、村民の心身・健康増進を図ることを目的にカヌー教室やグラウンドゴルフを実施することで、本村の自然の豊かさを体感するとともに、環境を活用した地域スポーツの普及・振興を図ります。		区 分	新規
			令和4年度	403 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	402,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	401,120 円	○グラウンド・ゴルフ体験教室（6月25日・7月23日・8月21日）：参加者延べ47名 ○カヌー体験教室（開催日6月18日）：参加者 20名				
事業成果		生涯スポーツの普及を推進するとともに、住民の健康増進と新たな団体を立上げるためのきっかけづくりに努めました。		課 題	体験教室を時限的（3年間）に実施する中で、既存団体への新たな会員の増加や新たな団体の立上げに結びつけていく必要があります。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> スポーツレクリエーションを通じて、村民の心身・健康増進を図るために継続して実施する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率	保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)	0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進		
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり		
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備		
計画事業 (予算事業)	423 生涯学習推進事業		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点である生涯学習センター「せせらぎ館」にて講座を開催することで、学ぶ機会を提供し、各種団体との相互交流を通じて、団体活動の活性化を図ります。		区 分	拡充
			令和4年度	141 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	67,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	67,000 円	○陶芸教室（9月30日・10月28日・11月25日）：参加者数延べ34名 ○歴史講座1「古写真に見る煤ヶ谷・宮ヶ瀬の移り変わり」（7月18日）：参加者/26名 歴史講座2「鎌倉殿の13人と愛甲の武士たち」（12月17日）：参加者/83名 歴史講座3「丹沢山麓の山伏と相模の村里」（1月22日）：参加者/27名				
事業成果		教室を開催することで、生涯を通じて行う学びの場を提供するとともに、団体活動のきっかけづくりに努めました。		課 題	事業継続に向け、講師・担い手の確保が必要です。		
評 価						今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大			【理由】 1人ひとりの個性や能力を発揮し、生きがいのある充実した生活を送るため、生涯を通じて行う学びの場を提供するため、継続して実施する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合			
				廃 止			
A							

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数	
	1.42% (2017年 1.06%)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)	
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進				
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり				
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備				
計画事業 (予算事業)	424 文化伝承・文化財保護推進事業			担当部署	生涯学習課	
事業概要	次世代に向けての地域の自然や文化、歴史を受け継ぎ伝えるとともに、貴重な文化財を保護・保存し、継承していきます。また、『清川村史』作成の際に集めた未整理資料の中から文化財として価値の高いものを展示します。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	1,083 千円
					令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	983,000 円	主な実績内容				
	決算額	901,870 円	○文化財保護委員会議（7月6日・9月29日・10月30日）				
			○企画展 山本泰一郎「事務日誌」に記された清川村・戦争の時代～横須賀市立逸見小学校学童の集団疎開（10月15日～30日）：来館者延べ128名				
			○村史編さん時に収集した未整理資料の点検・整理				
事業成果		地域の文化・歴史について掘り下げて調査することができました。また、村史編さん時に収集した資料から、企画展を実施し、当時の状況や村内の児童生徒に対し、平和教育を学ぶ機会を提供することができました。		課題	文化財としての評価や保存、貴重な資料等の散逸を防ぐ取り組みの検討が必要です。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	【理由】 村の文化伝承・文化財を保護していくため、継続して実施する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	4 清川っ子を育むプロジェクト
----------	-----------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	合計特殊出生率		保育所待機児童数	新規生涯学習 イベント数	幼・小・中の 連携事業数
	1.42% (2017年 1.06%)		0人 (2017年 0人)	5件	幼8・小14・中8回/年 (2017年 幼6・小12・中6)
位置付け	施策の 大綱	4 誇りを持って村を支える人づくりの推進			
	基本目標	1 将来を担う子どもが輝く村づくり			
	基本施策	1 子どもが健やかに育つ環境の整備			
計画事業 (予算事業)	425 青龍祭			担当部署	生涯学習課
事業概要	村の伝統文化の継承、青少年の健全育成、住民の交流、村の観光振興を目的に、8月中旬に青龍祭を開催します。また、関係団体の代表者において実行委員会を組織し、年間を通じて青龍祭開催に向けた準備を行います。当日は入魂式と青龍パレードを行った後、夕方から本祭を開催します。			区 分	継続
				令和4年度	1,000 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績							
事業費	予算現額	521,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	520,013 円	開催に向けて準備したポスターや青龍制作等に使用する資材や消耗品の購入、当日使用予定の音響機材や花火等の準備を行いました。感染症拡大防止のため、事業を中止しました。				
事業成果		青龍祭事業の中止する判断を速やかに行い、資源の消費を抑えることに努めました。		課 題	コロナ禍におけるイベントの開催や中止の判断。また、イベントを中止した際の準備にかかった経費に対する公費での補填について		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	【理由】 文化の伝承、青少年の健全育成を推進するため、継続して実施する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 目標管理シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1施設

目 標 達 成 度				
年度／区分	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
令和元年度 (2019年)	1,220人/年	31.0%	11.0%	0施設
令和2年度 (2020年)	38人/年	26.4%	11.0%	1施設
令和3年度 (2021年)	30人/年	33.0%	11.0%	0施設
令和4年度 (2022年)	54人/年	33.0%	12.0%	0施設
令和5年度 (2023年)	—	—	—	—
計	1,220人 (年平均335人)	33.0%	12.0%	1施設

事 業 実 績			
計画事業（予算事業）		評価	今後の方向性・方針
501	やまびこ健診事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
502	やまびこ館管理運営事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
503	健康増進事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
504	宮ヶ瀬診療所運営事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
505	医療対策事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
506	地域医療支援事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します
507	介護保険事業特別会計	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
508	老人福祉総務事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
509	敬老事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
510	高齢者外出支援事業	A	継続 概ね適切であり、継続して実施します
511	在宅療養者支援事業	B	継続 課題があるが、継続して実施します



事業実績			
計画事業（予算事業）	評価	今後の方向性・方針	
512 高齢者見守り事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
513 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
514 高齢者オーラルフレイル健康診査事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
515 高齢者運転免許証自主返納者支援事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
516 社会福祉総務事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
517 せせらぎ館管理運営事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
518 図書館管理運営事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
519 運動公園管理運営事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
520 清川やまびこマラソン大会（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
521 夏季プール一般開放事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
522 文化振興事業（再掲）	B	継続	課題があるが、継続して実施します
523 生涯スポーツ推進事業（再掲）	B	継続	課題があるが、継続して実施します
524 生涯学習推進事業（再掲）	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
525 集会施設等維持管理事業	A	継続	概ね適切であり、継続して実施します
526 コミュニティ活動支援事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します
527 地域コミュニティ活性化事業	B	継続	課題があるが、継続して実施します

目標達成への課題	
未病センターきよかわ 利用者数	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、利用を一時停止（申し出に応じて随時開放）していたことから、健康意識の高い一部の利用に留まっています。
やまびこ健診受診率	申込方法の簡素化など、受診しやすい方法を検討しているが、村独自の受診対象者である若年層の受診率に転嫁されない状況となっています。
介護予防教室参加率	新規加入者の増加により、目標を達成しました。
高齢者向け 福祉施設等の新規整備	令和２年度に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が開業し、目標を達成しています。


目標指針の今後の方向性・方針	
未病センターきよかわ 利用者数	令和５年秋の予防接種終了後、通常どおり利用を開始することとし、きよかわくらし応援館内の未病センターと併せ、積極的な活用を推進します。
やまびこ健診受診率	若年層（20～39歳）は、勤務先等で別途受診している場合があることから受診状況を正確に把握することが困難ですが、早期生活習慣病予防の重要性の周知啓発を継続します。
介護予防教室参加率	引き続き参加を促進し、健康寿命の延伸に向けた取り組みを継続します。
高齢者向け 福祉施設等の新規整備	新規整備の予定はありませんが、当該事業者との連携など介護事業の拡大について検討を継続します。
【備 考】	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	501 やまびこ健診事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	疾病の早期発見・治療や生活習慣病の予防改善を図るため、20～39歳までを対象とした早期生活習慣病予防健康診査、40～74歳までの国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査、75歳以上を対象とした後期高齢者健康診査を実施します。		区 分	継続
			令和4年度	5,159 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	4,973,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	4,885,547 円	○早期生活習慣病予防等健康診査業務委託料 606,936円				
			○後期高齢者等健康診査業務委託料 3,113,840円				
			○骨密度測定検査業務委託料 581,900円				
		○肝炎ウィルス健診業務委託料 165,165円					
事業成果		健診を実施することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげるとともに、生活習慣の予防・改善を図りました。		課題	早期生活習慣病予防健康診査の受診率が低いことか、生活習慣病の予防につなげる取り組みが必要です。		
評 価						今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大			【理由】 感染症に留意した安全な健康診査を継続して実施し、生活習慣病の予防を図り、医療費及び介護保険給付費の抑制に努めていきます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合			
				廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	502 やまびこ館管理運営事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	保健福祉活動の拠点として、機能の充実や施設・設備等の維持管理を行い、利用者が安心して利用できる環境を提供します。		区 分	継続
			令和4年度	3,022 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績								
事業費	予算現額	3,172,000 円	主な実績内容					
	決算額	2,938,259 円	○清掃業務委託 650,590円 ○エレベーター等保守業務委託 475,200円 ○機械警備業務委託 402,600円 ○全熱交換器整備業務委託 428,989円					
事業成果		適正な管理運営を図ることで、施設の安全かつ良好な状態を保っています		課題	建物の経年劣化による備品や設備の修繕等が見られるほか、今後も増加していくことが考えられ、適切な管理が求められます。			
評価					A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業					拡大		【理由】 引き続き、感染症対策や、機器の修繕等の費用が膨らまないよう点検や確認に努めます。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業					継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業					見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業					統合		
					廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	503 健康増進事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	<p>栄養・運動・その他の生活習慣に関する健康相談のほか、健診結果から生活習慣病の重症化を防ぐための栄養指導等を強化し、脳卒中や心血管疾患等を予防します。</p> <p>また、健康カレンダーを作成し、村民が自ら健康管理を適切に実施することができるよう支援を行います。</p>		区 分	継続
			令和4年度	474 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	474,000 円	主な実績内容				
	決算額	402,895 円	○健康手帳の交付 ○健康栄養・運動相談 ○重症化予防事				
事業成果		健診結果などに基づき、健康相談を実施して生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防及び悪化を防ぐことができました		課題	高血圧の方や腎機能が低下している方が多く、慢性腎臓病の予防や人工透析への移行を防止することが重要です。		
評価				B 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 高血圧の放置者や生活習慣の改善ができない方は多く、減塩など食生活の改善を促すため、早期年代から健診の受診及び生活習慣病予防の周知・啓発の方法を検討する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
				廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	504 宮ヶ瀬診療所運営事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	県立煤ヶ谷診療所とともに村民の身近な施設で一般診療を受けることができる医療機関として、宮ヶ瀬地区住民センターに宮ヶ瀬診療所を設置し、地域医療の充実を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	3,210 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	2,937,000 円	主な実績内容			
	決算額	2,766,680 円	○宮ヶ瀬診療所管理運営事務委託料 1,911,409円 ・診療回数50回、患者数延81人 (1.62人／日平均)			
事業成果	宮ヶ瀬住民センターを宮ヶ瀬診療所として、毎週水曜日 (14:00～15:30) に診療を行い、村内で一般診療を受けることができる医療機関として、村民の身近な施設での地域医療充実を図りました。		課題	受診患者の高齢化に伴い、入院や施設入所が必要となるなど、受診患者数が減少する一方で、自宅からより近い医療機関として受診先を変更した方もいるため、今後も地域住民の利便性をはじめ、新規患者も受け入れられる体制整備を継続していく必要があります。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 村内で一般診療を受けることができる医療機関として重要であるが、利用者が年々減少しているため今後の運営について検討が必要です。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	○
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	505 医療対策事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	村民が安全に、安心して生活できるよう、休日及び夜間における救急医療体制の確保や24時間相談できる健康・医療相談サービス事業を実施します。		区 分	継続
			令和4年度	2,826 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績				
事業費	予算現額	2,826,000 円	主な実績内容	
	決算額	2,814,449 円	○厚木医療圏広域医療診療事業負担金 1,916,748円 ○第1 歯科診療圏障害者歯科診療事業負担金 49,941円 ○電話による健康医療相談相談サービス事業 769,840円 相談件数 112件 ○やまびこ館AED使用料 73,920円	
事業成果		村民が安心して生活できるよう、休日及び夜間における救急医療体制の確保及び歯科保健センター維持管理費(障害者歯科診療事業分)を負担しました。新型コロナウイルス感染症に伴う厚木医師会管内におけるPCR検査場、年末年始における診療体制の確保のための経費を負担しました。	課題	現行の電話による健康医療相談サービス事業の利用促進を推進する必要があります。
評 価			今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡大	<b>【理由】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、医療資源の少ない本村においては、引き続き広域的な医療体制の確保を図る必要があることから、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継続	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統合	
			廃止	

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進			
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり			
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施			
計画事業 (予算事業)	506 地域医療支援事業			担当部署	保健福祉課
事業概要	地域における歯科医療拠点としての機能を維持・強化するほか、 村内に所在する歯科医院と連携することで、村事業における歯科医療の専門性の向上と、村民の健康維持や地域医療の充実を図ります。			区 分	継続
				令和4年度	2,450 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	2,450,000 円	主な実績内容				
	決算額	2,444,605 円	歯科医院に対し、助成金を交付しました。 ○清川村地域医療支援助成金 2,400,000円				
事業成果		助成金交付によって、村内唯一の歯科医院の確保・運営が図られました。		課題	歯科医院の確保を図りながら、助成金額等の調整やあり方の検討が必要です。		
評価				<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大		【理由】 地域医療拠点である歯科医院の確保を第一に、当該医院の利用者数等村民のニーズを把握し、助成額の適正化を図ります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	
		B	7	B どちらかと言うと有効	○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	
		B	4	B 80%以上	○
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	507 介護保険事業特別会計		担当部署	保健福祉課
事業概要	介護保険法に基づき、65歳以上の方（第1号被保険者）及び40歳から64歳までの方（第2号被保険者）からの保険料を財源として、要介護・要支援の認定を受けた方に各種サービスを提供します。		区 分	継続
			令和4年度	323,088 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	340,590,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	322,225,828 円	介護保険法に基づき、安定した事業の運営を図りました。			
事業成果		円滑に事業の運営を図ることができました。	課 題	村は県内でも高齢化率は高く、認定率は低い状況にあり、元気な高齢者が多くいる一方で、重度化してから介護認定を受ける人が多いため、介護給付費が高くなっています。重度化する前の健康づくり事業や、介護予防事業等の強化が必要となります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 介護保険は、加齢による病気等で要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護・機能訓練等が必要な人に対して必要不可欠であり、高齢者が安心して日常生活を送ることができるよう、継続して事業を行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	508 老人福祉総務事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	村内の高齢者福祉関連団体である生きがい事業団や緑ことぶき連合会の活動を支援することで地域の活性化を図り、村内の 高齢者が住み慣れた地域の中で、いきいきと暮らし続けることができる地域づくりを推進します。		区 分	継続
			令和4年度	4,112 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	3,874,000 円	主な実績内容			
	決算額	3,873,501 円	○生きがい事業団運営費補助金 3,000,000円 ○緑ことぶき連合会運営費補助金 395,000円 ○民間社会福祉施設整備借入償還金補助金 476,000円 ※令和4年度で完済			
事業成果		補助金の交付等の支援により、各種団体の活性化が図られ、高齢者の活力ある社会づくりが推進されました。	課題	各団体とも加入者の高齢化が進んでいることから、団体の活力ある活動を継続するために新規会員の加入が必要です。		
評価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大	【理由】 高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることのできる地域づくりに関し、支援を継続する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	509 敬老事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	多年にわたり地域社会の発展に寄与された高齢者に敬愛の意を表し、長寿を祝うため、敬老会の開催、敬老祝金品の贈呈します。また、地域住民の高齢者福祉への関心と理解を深めるとともに、高齢者自らが生活の質の向上に努める意欲を高めることで、地域全体の福祉増進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,927 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	1,795,600 円	主な実績内容				
	決 算 額	1,742,258 円	○敬老祝金 610,000円 ※57組				
			○敬老祝品 570,258円 ※572個				
			○演芸業務委託料 495,000円				
			○来場者送迎用バス賃借料 67,000円				
事業成果		敬老会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としましたが、演芸のみ3月に敬老のつどいとして開催。地域住民に高齢者福祉への関心を持っていただくとともに、高齢者が自らの生活の向上に努める意欲を高める一助となりました。		課 題	対象者の年々の大幅な増加により会場の収容人員や予算確保等の観点から、敬老会の開催方法や祝金品の対象者の見直し等の検討が必要です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			A			
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業						
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業						
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業						
					拡 大		【理由】 多年にわたり地域に貢献されてきた高齢者の長寿を祝うことだけでなく、地域住民に対して高齢者の福祉に関心を持っていただくとともに、理解を深めていただく必要があるため、継続して事業を実施します。
					継 続	○	
					見直し		
					統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	510 高齢者外出支援事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	バス事業者が販売している高齢者バス割引乗車券を購入する高齢者に対し、当該購入費の一部を助成することで、高齢者の外出機会を拡大し、社会参加や健康づくり、生きがいがづくりの増進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,694 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	1,337,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,330,000 円	○高齢者バス割引乗車券購入費助成負担金 1,330,000円 ※助成人数190人			
事業成果		高齢者の経済的な負担の軽減だけでなく、外出機会の拡大と社会参加の促進、健康づくり、生きがいがづくりの増進が図られました。		課 題	—	
評 価					今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業		拡 大			【理由】 高齢者の外出機会を増やし、積極的に社会参加できるように支援していく必要があるため、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業		継 続		○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業		見直し			
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業		統 合			
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	511 在宅療養者支援事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	在宅の要介護者、要支援者及び介護予防・日常生活総合事業対象者（本人非課税に限る）に対し、日常生活用具を給付することで、日常生活の維持機能・自立促進及び介護者の経済的負担の軽減を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	1,596 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	956,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	764,329 円	○日常生活用具給付金 764,329円 ※利用登録者数60人 (要支援認定者及び総合事業対象者：上限2,000円/月、要支援認定：上限4,000円/月)			
事業成果	在宅で介護サービスを利用している要介護認定者等（本人非課税）に紙おむつ等の介護用品を給付し、日常生活における機能維持と自立の促進や、介護者の経済的負担の軽減を図ることができました。		課 題	国からの補助金が主な財源となっており、令和6年度以降は補助金対象外となるため、今後、村独自の取組みとしての検討が必要となります。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】 補助金事業から外れるため、対象者を絞りながら、要介護認定者等の日常における機能維持や介護者の経済的負担軽減を図るため継続して事業を行います。</div>	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力	
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い	
		B	9	B どちらかと言うと高い	○
		C	6	C どちらかと言うと低い	
		D	4	D 低い	
	備考				

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い	
		B	7	B どちらかと言うと高い	○
		C	5	C どちらかと言うと低い	
		D	2	D 低い	
	備考				

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効	○
		B	7	B どちらかと言うと有効	
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D 有効ではない	
	備考				

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している	
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C 改善の余地あり	
		D	1	D 大きく改善の余地あり	
	備考				

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B 80%以上	
		C	2	C 50%以上	
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている	
	備考				

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	512 高齢者見守り事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	日常生活に支障のある高齢者や重度障がい者、一人暮らしの高齢者等が、住み慣れた地域で安全に、安心して生活できるよう、各種の見守り事業を実施することで、身元確認・安否確認を行う体制を構築し、高齢者福祉の増進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	975 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	1,719,400 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,695,400 円	○福祉給食サービス事業委託料 968,800円 ※@400×2,422食（実利用者数38人） ○福祉給食サービス利用料緊急支援補助金 726,600円 ※@300×2,422食 ※令和4年度のみ			
事業成果		日常生活に支障のある高齢者等について、安心して生活のできる環境づくりが図られました。	課 題	健康状態や世帯の構成など個々の状況の応じた見守り体制や支援体制の検討が必要です。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<div>【理由】 一人暮らしの高齢者や高齢世帯等を対象に、食生活の改善や孤独感の解消、緊急時の対応促進を目的として、見守り活動できる環境づくりを整える必要があるため、継続して事業を実施します。</div>	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	513 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	地域での活躍を希望する高齢者に対して、補聴器の購入費助成を行い、日常生活の利便に供することで、心身の機能維持と自立の促進を図ります。また、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを増進するため、レクリエーション活動や幼稚園児・保育園児との交流の場を提供します。		区 分	継続
			令和4年度	566 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	502,230 円	主な実績内容			
	決 算 額	479,429 円	○ゲートボール場維持管理経費 400,629円 ○在宅高齢者自立支援用具購入費助成金 78,800円 ※助成者数12人			
事業成果		難聴による認知機能の低下を抑制するため、補聴器の購入費を一部助成し、心身の機能維持と自立の促進を図りました。	課 題	利用頻度が低下しているゲートボール場の新たな活用手法として、レクリエーションや生きがいづくりの場の提供について、検討する必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 地域の実状に応じた生きがいづくりや制度の構築、また、ゲートボール場の有効活用について継続して検討する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	514 高齢者オーラルフレイル健康診査事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	75歳以上の高齢者に対し、スクリーニング問診及びオーラルフレイル健康診査を実施し、保健師・歯科衛生士等がフォローアップすることで、口腔機能の維持・改善を支援します。		区 分	継続
			令和4年度	163 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	163,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	163,000 円	75歳以上の口腔機能の低下リスクがある8人に健診を実施。半年の機能改善の為の指導を歯科医衛生士と指導支援を実施する。			
事業成果		実施者の口腔機能向上やオーラルフレイル予防につながりました。	課 題	対象者が限定されていることから、より多くの村民に対し意識啓発を行う手法について検討する必要があります。		
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 ハイリスク者だけでなく、より多くの村民に対し、口腔機能維持の重要性を啓発する必要があることから、継続して事業を実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	515 高齢者運転免許証自主返納者支援事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	運転免許証を自主返納した高齢者に対し、高齢者バス割引乗車券購入費助成事業における自己負担額を2年間にわたり全額助成することで、自動車の運転に不安を持つ高齢者が自主的に運転免許証を返納しやすい環境を整備し、高齢者による交通事故の防止を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	108 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	108,000 円	主な実績内容			
	決算額	72,400 円	・ 高齢者運転免許証自主返納者支援事業補助金 72,400円 ※助成者数8人			
事業成果		高齢者の運転による交通事故の防止とともに、外出機会の拡大と社会参加の促進、健康づくり、生きがいつくりの増進が図られました。	課題	バス停までの交通手段の確保が困難な地域に住む方など、事情により運転免許を自主返納できない高齢者への対応策について検討が必要です。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 全国的に多発する高齢者による交通事故の防止につなげるため、運転免許証を返納しやすい環境を整える必要があることから、継続して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	516 社会福祉総務事業		担当部署	保健福祉課
事業概要	村民が自立した生活を営むことができるよう、社会全体の福祉向上を目指して、福祉関連団体への活動支援を行います。		区 分	継続
			令和4年度	54,486 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績					
事業費	予算現額	58,132,000 円	主な実績内容		
	決 算 額	57,918,596 円	・ 民生委員推薦会委員報酬 20,000円 ※@5,000×4人 ・ 職員給与、手当等 31,104,341円 ・ 各種福祉団体への運営費補助金 26,316,000円 ※補助団体数9団体		
事業成果		共に支え合う地域社会づくり、地域福祉の推進が図られました。	課 題	家庭形態の変化や地域関係の希薄化により、家庭や地域が担っていた子育てや介護などの能力が低下し、福祉における行政の役割が大きくなっており、継続的なものに加え、新たな取組の検討が課題です。	
評 価			<div>➡</div>	今後の方向性・方針	
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	【理由】 地域に密着した福祉の増進を図るため、各種社会福祉団体への支援を継続して行う必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続	○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し	
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合	
				廃 止	



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		○
		B	7	B どちらかと言うと有効		
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		○
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		○
		B	4	B 80%以上		
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	517 セセらぎ館管理運営事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点施設として、利用促進と施設・設備等の適正な維持管理を行い、サービスの向上と施設の防犯・防災対策に努めます。		区 分	継続
			令和4年度	11,161 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績								
事業費	予算現額	10,887,000 円	主な実績内容					
	決算額	10,721,755 円	開館日数357日、延べ利用者数16,633名 貸室稼働率 ①みどりホール 62%②楽屋 29%③活動室 1 25%④活動室 2 24%⑤活動室 3 7%⑥研修室 24%⑦創作室・和室 24%⑧展示室 45%⑨その他（可動席使用日数）31日					
事業成果		生涯学習の拠点施設としての維持管理及び防災安全対策等に努めました。		課題	経年劣化に伴い、施設設備のうち製造終了となっている交換部品があることから、計画的な更新が必要です。			
評価					A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業					拡大		【理由】 生涯学習活動の拠点施設として、
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業					継続	○	利用促進に努めるとともに、機能の充実や施設・設備等の維持管理に努め、住民サービスの向上を図る必要があるため、継続して事業を行います。
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業					見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業					統合		
					廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	518 図書館管理運営事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	図書館の適切な管理運営を行うため、図書整理員を配置するほか、村ホームページで新着図書等の紹介を行い、図書及び視聴覚資料の充実と利用促進を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	8,601 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	8,308,000 円	主な実績内容			
	決算額	8,224,143 円	利用実績①年間利用者数：6,811名②蔵書数：45,266冊③ビデオ・DVD数：968本④登録団体：26団体⑤村内登録者(在住・在勤)：1,760名⑥村外登録者（広域）：606名⑦図書資料利用冊数：図書13,372冊、ビデオ・DVD855本⑧図書・視聴覚資料購入数：書籍440冊、DVD9本			
事業成果		図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに、村HPで新着図書等の紹介を行い、住民へのサービスの提供を継続できました。	課題	予算や蔵書可能な図書等の数が限られている中で、利用者の多様なニーズに応えるため、増えた蔵書に対する保管や整理等の適切な管理を行う必要があります。		
評価			A 	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 図書館の適切な管理運営を行い、図書及び視聴覚資料の充実を図るとともに住民に読書をはじめとする情報サービスを提供するため、貴族して事業を実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
			廃止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	519 運動公園管理運営事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	清川村運動公園を安全に、安心して利用できるよう、施設・設備等の維持管理を行います。また、野球場芝生の管理に使用する芝刈機や投手用防球ネットを更新し、利用者へのサービスの向上を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	5,611 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	6,442,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	6,108,869 円	○年間利用数：野球場4,277名（230件）、テニスコート8,251名（1,078件） ○団体登録者数：6団体（野球2団体・ソフトボール1団体・テニス3団体）			
事業成果		清川村運動公園を安心して安全な施設利用ができるよう、施設・設備等の維持管理を行いました。	課 題	施設の老朽化により、計画的な改修工事を実施する必要があります。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 村民の健康増進と体力の向上を図るとともに、生涯学習、各種スポーツができる施設として、安心して安全な施設利用ができるよう、施設・設備等の維持管理を継続して行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
			廃 止			

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	520 清川やまびこマラソン大会(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	村民の体育・スポーツ意識の高揚と健康増進、体力の向上等を図るため、マラソン大会を開催します。 また、元気や賑わいを取り戻すため、ゲストランナーを招致して開催します。		区 分	継続
			令和4年度	2,000 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績							
事業費	予算現額	0 円	主な実績内容				
	決 算 額	0 円	村民や村外の方を対象に、「清川やまびこマラソン大会」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業を中止しました。				
事業成果		事業を中止したため、成果はありません。		課 題	災害に伴うコースや種目変更への対応が課題です。また、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえでの事業実施方法も課題です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 村民の体力向上及び村外の方法の来村のきっかけとなり、村の認知度の向上にも期待できることから継続して実施します。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標					
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進			
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり			
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施			
計画事業 (予算事業)	521 夏季プール一般開放事業(再掲)			担当部署	生涯学習課
事業概要	学校の夏季休業中に、学校のプールを一般開放することで、健康増進と体力の向上を図ります。			区 分	継続
				令和4年度	1,592 千円
				令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	1,418,000 円	主な実績内容			
	決算額	1,417,900 円	○開放期間：7月23日～8月20日（19日間） ○利用者数：延べ386名			
事業成果		学校の夏季休業中に学校プールを一般開放し、地域住民が水に親しむとともに、心身・健康の増進を図ることができました。	課題	施設の老朽化に伴い、近隣市町のプール施設の広域利用の検討が課題です。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 村民の憩いの場、健康の増進の場として必要であるため、継続して実施します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		○
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	522 文化振興事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点である生涯学習センター「せせらぎ館」にて講座を開催することで、学ぶ機会を提供し、各種団体との相互交流を通じて、団体活動の活性化を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	674 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	39,000 円	主な実績内容			
	決算額	38,989 円	○文化作品等展示会(令和4年4月15日～令和5年3月31日)：来館者/延べ612名 ○文化作品展(11月18日～20日)：来館者/延べ117名、出展者/村団体7団体、村内在住5名 ○芸能発表会(11月20日)：来館者/85名、出演団体/10団体			
事業成果		文化作品等展示会及び清川村文化祭を実施したことで、村民や各種団体の教養・文化の振興、交流が図れました。	課題	清川村文化協会が休会している中で、清川村文化祭の企画や運営に携わる人材の確保や組織を再構築していく必要があります。		
評価			<div>B</div> <div></div>	今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		【理由】 村民や各種団体の教養・文化の振興、交流を図るために継続して実施する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		


評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					
必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					
有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					
効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					
事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	523 生涯スポーツ推進事業(再掲)		担当部署	生涯学習課
事業概要	スポーツレクリエーションを通じ、村民の心身・健康増進を図ることを目的にカヌー教室やグラウンドゴルフを実施することで、本村の自然の豊かさを体感するとともに、環境を活用した地域スポーツの普及・振興を図ります。		区 分	新規
			令和4年度	403 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	402,000 円	主な実績内容				
	決算額	401,120 円	○グラウンド・ゴルフ体験教室（6月25日・7月23日・8月21日）：参加者延べ47名 ○カヌー体験教室（開催日6月18日）：参加者 20名				
事業成果		生涯スポーツの普及を推進するとともに、住民の健康増進と新たな団体を立上げるためのきつかけづくりに努めました。		課題	体験教室を時限的（3年間）に実施する中で、既存団体への新たな会員の増加や新たな団体の立上げに結びつけていく必要があります。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大		<b>【理由】</b> スポーツレクリエーションを通じて、村民の心身・健康増進を図るために継続して実施する必要があります。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	
		B	9	B	どちらかと言うと高い	○
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	
		B	7	B	どちらかと言うと高い	○
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	524 生涯学習推進事業（再掲）		担当部署	生涯学習課
事業概要	生涯学習活動の拠点である生涯学習センター「せせらぎ館」にて講座を開催することで、学ぶ機会を提供し、各種団体との相互交流を通じて、団体活動の活性化を図ります。		区 分	拡充
			令和4年度	141 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	67,000 円	主な実績内容				
	決算額	67,000 円	○陶芸教室（9月30日・10月28日・11月25日）：参加者数延べ34名 ○歴史講座1「古写真に見る煤ヶ谷・宮ヶ瀬の移り変わり」（7月18日）：参加者/26名 歴史講座2「鎌倉殿の13人と愛甲の武士たち」（12月17日）：参加者/83名 歴史講座3「丹沢山麓の山伏と相模の村里」（1月22日）：参加者/27名				
事業成果		教室を開催することで、生涯を通じて行う学びの場を提供するとともに、団体活動のきっかけづくりに努めました。		課題	事業継続に向け、講師・担い手の確保が必要です。		
評価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡大	<b>【理由】</b> 1人ひとりの個性や能力を發揮し、生きがいのある充実した生活を送るため、生涯を通じて行う学びの場を提供するため、継続して実施する必要があります。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統合		
					廃止		



第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	○
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	○
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	○
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標						
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (K P I)	未病センターきよかわ 利用者数		やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備	
	400人 (2017年 300人/年)		40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設	
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進				
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり				
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施				
計画事業 (予算事業)	525 集会施設等維持管理事業			担当部署	総務課	
事業概要	地域コミュニティの拠点である集会施設を維持管理し、コミュニティ活動の円滑な実施を支援するほか、子ども広場の適正な維持管理を実施し、地域の子どもたちが安心して活動できる拠点を確保します。			事業費	区 分	継続
					令和4年度	2,824 千円
					令和5年度	予算編成時協議

事業実績							
事業費	予算現額	3,041,000 円	主な実績内容				
	決 算 額	2,828,580 円	地域コミュニティの拠点である集会施設を維持管理し、コミュニティ活動の支援を図りました。 ○金翅自治会館床改修工事 ○金翅自治会館入口部手すり設置工事				
事業成果		地域コミュニティの拠点となる集会施設や住民センターを適正に維持・管理し、安全で快適な施設となるよう努めました。		課 題	施設の老朽化に伴い、修繕を要する箇所が増えてきているため、計画的・平準的な更新が必要です。		
評 価					今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業				拡 大	<b>【理由】</b> 地域コミュニティの拠点として 有益な施設であるため、計画的な更新を図り、行政機能の維持・向上に努めます。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業				継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業				見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業				統 合		
					廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	A	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	○
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	○
		C	3	C	改善の余地あり	
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	○
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	526 コミュニティ活動支援事業		担当部署	総務課
事業概要	自治会をはじめ、趣味や運動、文化伝承等の多様なコミュニティ活動を促進するため、地域コミュニティ団体の活動を支援するとともに、自治会長相互の連携を促し、円滑な自治会活動を支援するため、自治会長会議及び研修会を実施します。		区 分	継続
			令和4年度	2,062 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事 業 実 績						
事業費	予算現額	1,520,000 円	主な実績内容			
	決 算 額	1,519,400 円	自治会や地域の多様なコミュニティ活動への支援を実施し、地域活動の活性化を図りました。 ○自治会長会議の実施 ○地域コミュニティ活動促進事業補助金：1件			
事業成果		自治会等の活動を支援することで地域コミュニティの充実と強化を図りました。	課 題	全国的に地域コミュニティの衰退が懸念される中、コミュニティ活動の維持・充実が課題となっています。		
評 価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡 大	<b>【理由】</b> 自治会をはじめとするコミュニティ活動を積極的に支援するため、継続して事業を行います。	
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継 続		○
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統 合		
				廃 止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A 高い		○
		B	9	B どちらかと言うと高い		
		C	6	C どちらかと言うと低い		
		D	4	D 低い		
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A 高い		
		B	7	B どちらかと言うと高い		
		C	5	C どちらかと言うと低い		○
		D	2	D 低い		
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A 有効		
		B	7	B どちらかと言うと有効		○
		C	4	C どちらかと言うと有効ではない		
		D	2	D 有効ではない		
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A 効率よく実施している		
		B	6	B 若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している		○
		C	3	C 改善の余地あり		
		D	1	D 大きく改善の余地あり		
	備考					


事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A 事業は計画通り進捗している		
		B	4	B 80%以上		○
		C	2	C 50%以上		
		D	0	D 事業が計画より大きく遅れている		
	備考					

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート

( 令和 4 年度 )

重点プロジェクト	5 高齢者の活力創出プロジェクト
----------	------------------

目 標 指 標				
令和5年度 (2023年)までの 重要業績評価指標 (KPI)	未病センターきよかわ 利用者数	やまびこ健診受診率	介護予防教室参加率	高齢者向け 福祉施設等の新規整備
	400人 (2017年 300人/年)	40% (2017年 31%)	12% (2017年 10%)	1 施設
位置付け	施策の 大綱	3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進		
	基本目標	1 健康で明るく暮らせる村づくり		
	基本施策	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施		
計画事業 (予算事業)	527 地域コミュニティ活性化事業		担当部署	政策推進課
事業概要	同世代の仲間づくりやセカンドステージの充実を図ることを目的として、令和4年度に60歳を迎える村民を対象に、60歳を祝う会を開催し、地域コミュニティの活性化を図ります。		区 分	継続
			令和4年度	50 千円
			令和5年度	予算編成時協議

事業実績						
事業費	予算現額	3,000 円	主な実績内容			
	決算額	2,520 円	令和4年度中に60歳を迎える村民を対象に「新たな門出を祝う会」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業を中止しました。			
事業成果	事業を中止したため、成果はありませんでした。		課題	定年延長等により、年度中に60歳を迎える世代が現役世代となりつつあることから、対象者について再検討する必要があります。		
評価				今後の方向性・方針		
A	「充実」また「事業内容が概ね適正」な事業			拡大		<b>【理由】</b> 同世代の仲間づくりや交流の場を提供することで、地域コミュニティの活性化を促進するため、令和5年度の実施を目指します。
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業			継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方など見直しが必要な事業			見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業			統合		
				廃止		

第3次清川村総合計画・後期基本計画実施計画 実績評価シート評価基準表

( 令和 4 年度 )

総合評価基準			評価	今後の方向性		
A	「充実」また「事業内容が概ね適切」な事業	39～50	B	拡大		
B	課題があり、事業内容や手法等に一部見直しが必要な事業	28～38		継続	○	
C	課題が多く、事業内容や進め方などの見直しが必要な事業	17～27		見直し		
D	課題が多く、抜本的な見直しが必要であり、統合や廃止を検討する事業	0～16		統合		
				廃止		

評価項目	評価視点	配点基準		評価基準 ※いずれかに○を入力		
優先性 【4～14】	①事業の優位性は高いか？ ②事業の見直しを図った場合、村民生活や村の他政策、事業に影響があるか？	A	14	A	高い	○
		B	9	B	どちらかと言うと高い	
		C	6	C	どちらかと言うと低い	
		D	4	D	低い	
	備考					

必要性 【2～12】	①村民ニーズ、緊急性、法的根拠などから、村が主体的に実施する必要性は高いか？ ②事業実施の意義や必要性が変化していないか？ ③慢性的に実施していないか？	A	12	A	高い	○
		B	7	B	どちらかと言うと高い	
		C	5	C	どちらかと言うと低い	
		D	2	D	低い	
	備考					

有効性 【2～10】	①成果が上がり、期待していた通りの効果はあったか？ ②村民ニーズに有効に働いているか？ ③他の施策等と連携や貢献度は高いか？	A	10	A	有効	
		B	7	B	どちらかと言うと有効	
		C	4	C	どちらかと言うと有効ではない	○
		D	2	D	有効ではない	
	備考					

効率性 【1～8】	①色々な手法を取り入れ、業務の効率化が図れているか？ ②実施体制（職員数）等は妥当か？ ③適正な受益者負担などを求めているか？	A	8	A	効率よく実施している	
		B	6	B	若干改善の余地があり、概ね効率よく実施している	
		C	3	C	改善の余地あり	○
		D	1	D	大きく改善の余地あり	
	備考					

事業進捗 【0～6】	事務事業の達成度・進捗度はどうか？	A	6	A	事業は計画通り進捗している	
		B	4	B	80%以上	
		C	2	C	50%以上	
		D	0	D	事業が計画より大きく遅れている	○
	備考					

村の花「ミツバツツジ」



村の鳥「ウグイス」



村の木「イロハモミジ」



【編 集】清川村 政策推進課

〒243-0195 愛甲郡清川村煤ヶ谷 2216

TEL 046-288-1213（直通）

FAX 046-288-1767

E-mail: [kiyokawa@town.kiyokawa.kanagawa.jp](mailto:kiyokawa@town.kiyokawa.kanagawa.jp)